

【表紙】

【提出書類】	訂正有価証券届出書
【提出先】	関東財務局長殿
【提出日】	2022年7月6日提出
【発行者名】	三菱ＵＦＪ国際投信株式会社
【代表者の役職氏名】	取締役社長 横川 直
【本店の所在の場所】	東京都千代田区有楽町一丁目１２番１号
【事務連絡者氏名】	伊藤 晃
【電話番号】	03-6250-4740
【届出の対象とした募集（売出）内国投資信託受益証券に係るファンドの名称】	三菱ＵＦＪ／マッコーリー オーストラリア・ハイインカム債券ファンド（毎月決算型）
【届出の対象とした募集（売出）内国投資信託受益証券の金額】	１兆円を上限とします。
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

2022年1月6日付をもって提出した有価証券届出書（以下「原届出書」といいます。）について有価証券報告書の提出に伴う関係情報の更新等を行うため、本訂正届出書を提出します。

2【訂正の内容】

<訂正前>および<訂正後>に記載している下線部__は訂正部分を示し、<更新後>に記載している内容は原届出書の更新後の内容を示します。

なお、「第二部 ファンド情報 第1 ファンド状況 5 運用状況」、「第二部 ファンド情報 第3 ファンドの経理状況」は原届出書の更新後の内容を記載します。

第一部【証券情報】

（１）【ファンドの名称】

<訂正前>

三菱ＵＦＪ／マッコーリー オーストラリア・ハイインカム債券ファンド（毎月決算型）
（「ファンド」といいます。）

ファンドの愛称を「カンガルー・ジャンプ」とします。

ファンドの名称は2022年3月26日付で「三菱ＵＦＪ／ＡＭＰ オーストラリア・ハイインカム債券ファンド（毎月決算型）」から「三菱ＵＦＪ／マッコーリー オーストラリア・ハイインカム債券ファンド（毎月決算型）」に変更しました。

<訂正後>

三菱ＵＦＪ／マッコーリー オーストラリア・ハイインカム債券ファンド（毎月決算型）
（「ファンド」といいます。）

ファンドの愛称を「カンガルー・ジャンプ」とします。

（１２）【その他】

<更新後>

該当事項はありません。

第二部【ファンド情報】

第１【ファンドの状況】

１【ファンドの性格】

（３）【ファンドの仕組み】

< 訂正前 >

委託会社と関係法人との契約の概要

	概要
委託会社と受託会社との契約 「信託契約」	運用に関する事項、委託会社および受託会社としての業務に関する事項、受益者に関する事項等が定められています。 なお、信託契約は、「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づきあらかじめ監督官庁に届け出られた信託約款の内容で締結されます。
委託会社と販売会社との契約 「投資信託受益権の取扱いに関する契約」	販売会社の募集の取扱い、解約の取扱い、収益分配金・償還金の支払いの取扱いに係る事務の内容等が定められています。
委託会社と再委託先との契約 「信託財産の運用指図権限委託契約」	運用指図権限委託の内容およびこれに係る事務の内容、再委託先が受ける報酬等が定められています。

委託会社の概況（2021年10月末現在）

- ・金融商品取引業者登録番号
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第404号
- ・設立年月日
1985年8月1日
- ・資本金
2,000百万円
- ・沿革
1997年5月 東京三菱投信投資顧問株式会社が証券投資信託委託業務を開始
2004年10月 東京三菱投信投資顧問株式会社と三菱信アセットマネジメント株式会社が合併、商号を三菱投信株式会社に変更
2005年10月 三菱投信株式会社とユーエフジェイパートナーズ投信株式会社が合併、商号を三菱ＵＦＪ投信株式会社に変更
2015年7月 三菱ＵＦＪ投信株式会社と国際投信投資顧問株式会社が合併、商号を三菱ＵＦＪ国際投信株式会社に変更
- ・大株主の状況

株 主 名	住 所	所有株式数	所有比率
三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目４番５号	211,581株	100.0%

< 訂正後 >

委託会社と関係法人との契約の概要

	概要
--	----

委託会社と受託会社との契約 「信託契約」	運用に関する事項、委託会社および受託会社としての業務に関する事項、受益者に関する事項等が定められています。 なお、信託契約は、「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づきあらかじめ監督官庁に届け出られた信託約款の内容で締結されます。
委託会社と販売会社との契約 「投資信託受益権の取扱いに関する契約」	販売会社の募集の取扱い、解約の取扱い、収益分配金・償還金の支払いの取扱いに係る事務の内容等が定められています。
委託会社と再委託先との契約 「信託財産の運用指図権限委託契約」	運用指図権限委託の内容およびこれに係る事務の内容、再委託先が受ける報酬等が定められています。

委託会社の概況（2022年4月末現在）

- ・金融商品取引業者登録番号
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第404号
- ・設立年月日
1985年8月1日
- ・資本金
2,000百万円
- ・沿革
1997年5月 東京三菱投信投資顧問株式会社が証券投資信託委託業務を開始
2004年10月 東京三菱投信投資顧問株式会社と三菱信アセットマネジメント株式会社が合併、商号を三菱投信株式会社に変更
2005年10月 三菱投信株式会社とユーエフジェイパートナーズ投信株式会社が合併、商号を三菱ＵＦＪ投信株式会社に変更
2015年7月 三菱ＵＦＪ投信株式会社と国際投信投資顧問株式会社が合併、商号を三菱ＵＦＪ国際投信株式会社に変更
- ・大株主の状況

株 主 名	住 所	所有株式数	所有比率
三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号	211,581株	100.0%

3【投資リスク】

< 更新後 >

（１）投資リスク

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

（主なリスクであり、以下に限定されるものではありません。）

価格変動リスク

一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け公社債の価格が下落した場合には基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

為替変動リスク

実質的な主要投資対象である海外の公社債は外貨建資産であり、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。そのため、為替相場が円高方向に進んだ場合

には、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

信用リスク

信用リスクとは、有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となること等をいいます。当ファンドは、信用リスクを伴い、その影響を受けますので、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

（金融機関の実質的な破たんに関するリスク）

金融機関の破たん処理等に関し、株主だけでなく債権者にも損失負担を求める措置（ベイル・イン）に関する法制度が導入される国・地域においては、監督当局により実質破たん状態にあると認定された金融機関について、劣後債や優先証券、普通社債等についても元本の一部もしくは全部の削減や、発行体の普通株式への転換等、損失吸収措置がとられる可能性があり、この場合には当ファンドの基準価額が大きく下落する要因となります。

流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない、または取引が不可能となるリスクのことを流動性リスクといい、当ファンドはそのリスクを伴います。例えば、組み入れている公社債の売却を十分な流動性の下で行えないときは、市場実勢から期待される価格で売却できない可能性があります。この場合、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、当ファンドが組み入れる劣後債および優先証券等は、一般の公社債と比べ市場規模が小さく、一般的に取引量も少ないため、流動性リスクも高い傾向にあります。

劣後債および優先証券等（以下、「ハイブリッド証券」といいます）への投資には次のような特徴があり、価格変動・信用・流動性の各リスクは普通社債への投資と比較して相対的に大きいものとなります。

（法的弁済順位の劣後）

一般的にハイブリッド証券の法的弁済順位は株式に優先し、普通社債に劣後します。したがって、発行体が経営破たん等に陥った場合、普通社債等の元利金が支払われてもハイブリッド証券は元利金の支払いを受けられないことがあります。また、発行体が経営不安、倒産、国有化などに陥った場合には、ハイブリッド証券の価値が大きく減少すること、または無くなることがあり、この場合には当ファンドの基準価額が大幅に下落することがあります。さらに、ハイブリッド証券は、一般的に同一発行体の普通社債と比較して低い格付が格付機関により付与されています。

（繰上償還の延期・前倒し）

一般的にハイブリッド証券には、繰上償還（コール）条項が付与されており、この繰上償還の実施は発行体が決定することとなっています。繰上償還されることを前提として取引されている証券もあり、これらの証券が市場で予想されていた期日に繰上償還が実施されない場合、あるいは実施されないと見込まれる場合、また市場で予想されていた期日以前に償還される場合には、当該証券の価格が大きく下落することがあります。

（利息・配当の繰り延べまたは停止）

利息または配当の支払い繰り延べ条項を有するハイブリッド証券は、発行体の財務状況や収益動向等の要因によって、利息または配当の支払いが繰り延べまたは停止される可能性があります。この場合、期待される利払いや配当が得られないこととなり、ハイブリッド証券の価格が下落する可能性があります。

（損失吸収条項）

金融機関が発行するハイブリッド証券の中には、監督当局により実質破たん状態にあると認定された場合等に元本の一部もしくは全部が削減される、または発行体の普通株式に転換されるなどの損失吸収条項が付与されているものがあります。損失吸収条項に該当した場合、ハイブリッド証券の価格は大きく下落することがあります。

（株式等への転換）

一部のハイブリッド証券には、発行体の判断で実質的に株式等に転換する条項が付与されている場合があります。これらの証券が転換される、もしくは転換されると見込まれる場合には、当該証券の価格が大きく下落することがあります。

（制度変更等）

将来、ハイブリッド証券にかかる税制の変更や、当該証券市場にとって不利益な制度上の重大な変更等があった場合には、税制上・財務上のメリットがなくなるか、もしくは著しく低下する等の事由により、投資成果に悪影響を及ぼす可能性があります。

当ファンドは、格付けの低い投資適格未満の普通社債、劣後債および優先証券等に投資する場合があり、格付けの高い公社債への投資を行う場合に比べ、価格変動・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

留意事項

- ・当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- ・当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要性が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止となる可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性があります。
- ・当ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、当ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のベビーファンドの追加設定・解約によってマザーファンドに売買が生じた場合などには、当ファンドの基準価額に影響する場合があります。

（２）投資リスクに対する管理体制

委託会社では、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部から

独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行い、運用管理委員会において、それらの状況の報告を行うほか、必要に応じて改善策を審議しています。

また、流動性リスク管理に関する規程を定め、ファンドの組入資産の流動性リスクのモニタリングなどを実施するとともに、緊急時対応策を策定し流動性リスクの評価と管理プロセスの検証などを行います。運用管理委員会は、流動性リスク管理の適切な実施の確保や流動性リスク管理態勢について、監督します。

具体的な、投資リスクに対するリスク管理体制は以下の通りです。

トレーディング担当部署

有価証券等の売買執行および発注に係る法令等の遵守および監視・牽制を行います。

コンプライアンス担当部署

法令上の禁止行為、約款の投資制限等のモニタリングを通じ、法令等遵守状況を把握・管理し、必要に応じて改善の指導を行います。

リスク管理担当部署

運用リスク全般の状況をモニタリング・管理するとともに、運用実績の分析および評価を行い、必要に応じて改善策等を提言します。また、事務・情報資産・その他のリスクの統括的管理を行っています。

内部監査担当部署

委託会社のすべての業務から独立した立場より、リスク管理体制の適切性および有効性について評価を行い、改善策の提案等を通して、リスク管理機能の維持・向上をはかります。

* 組織変更等により、前記の名称および内容は変更となる場合があります。

〔再委託先の管理体制〕

リスク管理およびコンプライアンスの機能は、運用部門から独立したコンプライアンスおよびオペレーション・リスク管理部門によって実施しております。同部門により、全てのファンドについて投資ガイドライン違反やリスク管理指標からの逸脱がないかどうかのチェックを行なっています。

また、このほかに、投資ガイドラインなどに関するチェックの機能としては、コンプライアンス・スクリーニング・システムにより売買執行前および執行後のモニタリングを行いチェックします。

〔委託会社における再委託先に対する確認体制〕

委託会社と再委託先の間で、再委託先がファンド運用コンセプトを維持し、適切に投資リスク管理が図られるよう運用指図権限委託契約として委託内容を定めています。また、委託会社は再委託先に対し定期的に書面による調査等を実施し、投資リスクに対する管理体制の確認を行っています。

また、再委託先からの定期的なデ・タ還元を受け、ファンドのリスクの運営状況の確認を行っているほか、委託会社自身でもモニタリングし、投資リスクを管理しています。

■代表的な資産クラスとの騰落率の比較等

下記のグラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。



- 基準価額(分配金再投資)は分配金(税引前)を分配時に再投資したものと計算しており、実際の基準価額とは異なる場合があります。
- 年間騰落率は、各月末における直近1年間の騰落率をいいます。
- ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

上記は、過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。

代表的な資産クラスの指数について

資産クラス	指数名	注記等
日本株	東証株価指数(TOPIX) (配当込み)	東証株価指数(TOPIX)(配当込み)とは、日本の株式市場を広く網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標準又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標準又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み)	MSCIコクサイ・インデックス(配当込み)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み)	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCIエマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
日本国債	NOMURA-BPI(国債)	NOMURA-BPI(国債)とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI(総合)のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)	FTSE世界国債インデックス(除く日本)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当該指数の著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

4【手数料等及び税金】

(5)【課税上の取扱い】

< 訂正前 >

課税上は、株式投資信託として取り扱われます。

個人の受益者に対する課税

受益者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに解約時および償還時の譲渡益については、次の通り課税されます。

１．収益分配金の課税

普通分配金が配当所得として課税されます。元本払戻金（特別分配金）は課税されません。

原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。なお、確定申告を行い、総合課税（配当控除は適用されません。）・申告分離課税を選択することもできます。

２．解約時および償還時の課税

解約価額および償還価額から取得費（申込手数料（税込）を含みます。）を控除した利益（譲渡益）が譲渡所得とみなされて課税されます。

20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率による申告分離課税が適用されます。

特定口座（源泉徴収選択口座）を利用する場合、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収され、原則として、申告は不要です。

解約時および償還時の損失（譲渡損）については、確定申告により収益分配金を含む上場株式等の配当所得（申告分離課税を選択した収益分配金・配当金に限ります。）との損益通算が可能となる仕組みがあります。

買取りの取扱いについては、販売会社にお問い合わせください。

公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。他の口座で生じた配当所得・譲渡所得との損益通算はできません。販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

法人の受益者に対する課税

受益者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに解約時および償還時の個別元本超過額については、配当所得として15.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%）の税率で源泉徴収されます。地方税の源泉徴収はありません。なお、益金不算入制度の適用はありません。

買取りの取扱いについては、販売会社にお問い合わせください。

分配時において、外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

個別元本について

受益者毎の信託時の受益権の価額等（申込手数料（税込）は含まれません。）が当該受益者の元本（個別元本）にあたります。

受益者が同一ファンドの受益権を複数回取得した場合、個別元本は、当該受益者が追加信託を行うつど当該受益者の受益権口数で加重平均することにより算出されます。ただし、同一ファンドを複数の販売会社で取得する場合や、同一販売会社であっても複数支店等で同一ファンドを取得する場合等は、個別元本の算出方法が異なる場合があります。

受益者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。

収益分配金について

受益者が収益分配金を受け取る際、当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本と同額の場合または当該受益者の個別元本を上回っている場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金となり、当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本を下回って

いる場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、当該収益分配金から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。

なお、受益者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。

上記は2021年10月末現在のものですので、税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。

課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

< 訂正後 >

課税上は、株式投資信託として取り扱われます。

個人の受益者に対する課税

受益者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに解約時および償還時の譲渡益については、次の通り課税されます。

１．収益分配金の課税

普通分配金が配当所得として課税されます。元本払戻金（特別分配金）は課税されません。

原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。なお、確定申告を行い、総合課税（配当控除は適用されません。）・申告分離課税を選択することもできます。

２．解約時および償還時の課税

解約価額および償還価額から取得費（申込手数料（税込）を含みます。）を控除した利益（譲渡益）が譲渡所得とみなされて課税されます。

20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率による申告分離課税が適用されます。

特定口座（源泉徴収選択口座）を利用する場合、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収され、原則として、申告は不要です。

解約時および償還時の損失（譲渡損）については、確定申告により収益分配金を含む上場株式等の配当所得（申告分離課税を選択した収益分配金・配当金に限り、）との損益通算が可能となる仕組みがあります。

買取りの取扱いについては、販売会社にお問い合わせください。

公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。他の口座で生じた配当所得・譲渡所得との損益通算はできません。販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

法人の受益者に対する課税

受益者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに解約時および償還時の個別元本超過額については、配当所得として15.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%）の税率で源泉徴収されます。地方税の源泉徴収はありません。なお、益金不算入制度の適用はありません。

買取りの取扱いについては、販売会社にお問い合わせください。

分配時において、外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

個別元本について

受益者毎の信託時の受益権の価額等（申込手数料（税込）は含まれません。）が当該受益者の元本（個別元本）にあたります。

受益者が同一ファンドの受益権を複数回取得した場合、個別元本は、当該受益者が追加信託を行うつど当該受益者の受益権口数で加重平均することにより算出されます。ただし、同一ファンドを複数の販売会社で取得する場合や、同一販売会社であっても複数支店等で同一

ファンドを取得する場合等は、個別元本の算出方法が異なる場合があります。

受益者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。

収益分配金について

受益者が収益分配金を受け取る際、当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本と同額の場合または当該受益者の個別元本を上回っている場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金となり、当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、当該収益分配金から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。

なお、受益者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。

上記は2022年4月末現在のもので、税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。

課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

5【運用状況】

【三菱ＵＦＪ／マッコーリー オーストラリア・ハイインカム債券ファンド（毎月決算型）】

（１）【投資状況】

令和 4年 4月28日現在

（単位：円）

資産の種類	国／地域	時価合計	投資比率（％）
親投資信託受益証券	日本	1,980,979,843	99.29
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）	—	14,132,134	0.71
純資産総額		1,995,111,977	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

（２）【投資資産】

【投資有価証券の主要銘柄】

a 評価額上位 30 銘柄

令和 4年 4月28日現在

国／地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
日本	親投資信託受益証券	マッコーリー オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド	1,290,036,366	1.5646	2,018,390,899	1.5356	1,980,979,843	99.29

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類／業種別投資比率

令和 4年 4月28日現在

種類	投資比率（％）
親投資信託受益証券	99.29
合計	99.29

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

【投資不動産物件】

該当事項はありません。

【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

（３）【運用実績】

【純資産の推移】

下記計算期間末日および令和4年4月末日、同日前１年以内における各月末の純資産の推移は次の通りです。

（単位：円）

	純資産総額		基準価額 （１万口当たりの純資産価額）	
	（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第1計算期間末日（平成25年 1月 7日）	17,190,458,776	17,190,458,776	10,623	10,623
第2計算期間末日（平成25年 2月 7日）	16,805,940,114	16,805,940,114	11,121	11,121
第3計算期間末日（平成25年 3月 7日）	14,839,925,968	14,920,109,492	11,104	11,164
第4計算期間末日（平成25年 4月 8日）	13,598,756,106	13,667,896,868	11,801	11,861
第5計算期間末日（平成25年 5月 7日）	12,571,590,029	12,635,440,670	11,813	11,873
第6計算期間末日（平成25年 6月 7日）	9,413,860,804	9,466,370,042	10,757	10,817
第7計算期間末日（平成25年 7月 8日）	5,850,558,019	5,884,405,327	10,371	10,431
第8計算期間末日（平成25年 8月 7日）	5,104,920,850	5,135,773,106	9,928	9,988
第9計算期間末日（平成25年 9月 9日）	4,885,471,818	4,913,984,497	10,281	10,341
第10計算期間末日（平成25年10月 7日）	4,735,329,292	4,762,710,129	10,377	10,437
第11計算期間末日（平成25年11月 7日）	4,712,820,034	4,739,711,781	10,515	10,575
第12計算期間末日（平成25年12月 9日）	4,424,711,345	4,449,976,070	10,508	10,568
第13計算期間末日（平成26年 1月 7日）	4,373,547,835	4,398,598,840	10,475	10,535
第14計算期間末日（平成26年 2月 7日）	4,150,979,120	4,175,220,830	10,274	10,334
第15計算期間末日（平成26年 3月 7日）	4,138,179,812	4,161,810,399	10,507	10,567
第16計算期間末日（平成26年 4月 7日）	4,257,329,427	4,281,096,692	10,748	10,808
第17計算期間末日（平成26年 5月 7日）	4,224,841,958	4,248,533,256	10,700	10,760
第18計算期間末日（平成26年 6月 9日）	4,249,691,830	4,273,284,148	10,808	10,868
第19計算期間末日（平成26年 7月 7日）	4,522,990,352	4,548,025,005	10,840	10,900

第20計算期間末日	(平成26年 8月 7日)	4,826,273,223	4,853,123,130	10,785	10,845
第21計算期間末日	(平成26年 9月 8日)	5,752,478,334	5,783,610,724	11,086	11,146
第22計算期間末日	(平成26年10月 7日)	6,202,114,498	6,236,875,066	10,705	10,765
第23計算期間末日	(平成26年11月 7日)	6,920,376,950	6,957,938,448	11,054	11,114
第24計算期間末日	(平成26年12月 8日)	7,143,086,746	7,180,840,633	11,352	11,412
第25計算期間末日	(平成27年 1月 7日)	7,407,575,321	7,448,703,052	10,807	10,867
第26計算期間末日	(平成27年 2月 9日)	7,530,525,438	7,573,867,043	10,425	10,485
第27計算期間末日	(平成27年 3月 9日)	7,814,233,124	7,858,930,688	10,489	10,549
第28計算期間末日	(平成27年 4月 7日)	8,360,265,449	8,409,301,411	10,230	10,290
第29計算期間末日	(平成27年 5月 7日)	8,579,452,843	8,628,337,620	10,530	10,590
第30計算期間末日	(平成27年 6月 8日)	8,485,096,314	8,533,335,953	10,554	10,614
第31計算期間末日	(平成27年 7月 7日)	8,139,653,998	8,188,001,037	10,102	10,162
第32計算期間末日	(平成27年 8月 7日)	8,166,230,086	8,214,933,534	10,060	10,120
第33計算期間末日	(平成27年 9月 7日)	7,186,826,542	7,234,404,685	9,063	9,123
第34計算期間末日	(平成27年10月 7日)	7,283,998,896	7,330,624,805	9,373	9,433
第35計算期間末日	(平成27年11月 9日)	7,196,546,564	7,242,566,258	9,383	9,443
第36計算期間末日	(平成27年12月 7日)	7,268,908,473	7,314,080,118	9,655	9,715
第37計算期間末日	(平成28年 1月 7日)	6,548,631,407	6,592,379,698	8,981	9,041
第38計算期間末日	(平成28年 2月 8日)	6,388,857,144	6,432,279,746	8,828	8,888
第39計算期間末日	(平成28年 3月 7日)	6,363,157,845	6,406,186,864	8,873	8,933
第40計算期間末日	(平成28年 4月 7日)	6,284,227,790	6,327,002,232	8,815	8,875
第41計算期間末日	(平成28年 5月 9日)	5,865,815,221	5,907,673,329	8,408	8,468
第42計算期間末日	(平成28年 6月 7日)	5,917,265,628	5,959,519,421	8,402	8,462
第43計算期間末日	(平成28年 7月 7日)	5,650,106,090	5,692,148,445	8,063	8,123
第44計算期間末日	(平成28年 8月 8日)	5,766,368,708	5,808,471,670	8,218	8,278
第45計算期間末日	(平成28年 9月 7日)	5,796,452,589	5,838,857,864	8,202	8,262
第46計算期間末日	(平成28年10月 7日)	5,925,110,680	5,968,526,752	8,188	8,248
第47計算期間末日	(平成28年11月 7日)	5,955,667,149	5,999,021,991	8,242	8,302
第48計算期間末日	(平成28年12月 7日)	6,182,810,715	6,225,845,627	8,620	8,680
第49計算期間末日	(平成29年 1月10日)	6,004,788,223	6,046,588,323	8,619	8,679
第50計算期間末日	(平成29年 2月 7日)	5,997,559,299	6,039,358,967	8,609	8,669
第51計算期間末日	(平成29年 3月 7日)	5,891,740,437	5,932,471,969	8,679	8,739
第52計算期間末日	(平成29年 4月 7日)	5,669,054,384	5,709,478,672	8,414	8,474
第53計算期間末日	(平成29年 5月 8日)	5,571,863,643	5,611,969,749	8,336	8,396
第54計算期間末日	(平成29年 6月 7日)	5,504,154,499	5,544,285,027	8,229	8,289
第55計算期間末日	(平成29年 7月 7日)	5,598,614,300	5,638,138,751	8,499	8,559
第56計算期間末日	(平成29年 8月 7日)	5,613,270,182	5,652,134,358	8,666	8,726
第57計算期間末日	(平成29年 9月 7日)	5,488,003,967	5,526,335,311	8,590	8,650
第58計算期間末日	(平成29年10月10日)	5,328,742,155	5,366,311,284	8,510	8,570
第59計算期間末日	(平成29年11月 7日)	5,138,321,274	5,174,436,286	8,537	8,597
第60計算期間末日	(平成29年12月 7日)	4,823,529,666	4,858,612,672	8,249	8,309
第61計算期間末日	(平成30年 1月 9日)	4,842,670,344	4,876,661,435	8,548	8,608

第62計算期間末日	(平成30年 2月 7日)	4,614,727,614	4,648,346,345	8,236	8,296
第63計算期間末日	(平成30年 3月 7日)	4,296,678,767	4,329,777,277	7,789	7,849
第64計算期間末日	(平成30年 4月 9日)	4,240,457,652	4,273,309,865	7,745	7,805
第65計算期間末日	(平成30年 5月 7日)	4,180,181,958	4,212,897,361	7,666	7,726
第66計算期間末日	(平成30年 6月 7日)	4,203,990,077	4,236,178,464	7,836	7,896
第67計算期間末日	(平成30年 7月 9日)	4,024,645,149	4,056,343,345	7,618	7,678
第68計算期間末日	(平成30年 8月 7日)	3,948,722,310	3,980,056,381	7,561	7,621
第69計算期間末日	(平成30年 9月 7日)	3,750,913,220	3,781,786,711	7,290	7,350
第70計算期間末日	(平成30年10月 9日)	3,703,369,080	3,733,984,794	7,258	7,318
第71計算期間末日	(平成30年11月 7日)	3,749,832,809	3,780,268,409	7,392	7,452
第72計算期間末日	(平成30年12月 7日)	3,700,871,732	3,721,031,611	7,343	7,383
第73計算期間末日	(平成31年 1月 7日)	3,470,628,876	3,490,559,520	6,965	7,005
第74計算期間末日	(平成31年 2月 7日)	3,498,190,516	3,518,038,566	7,050	7,090
第75計算期間末日	(平成31年 3月 7日)	3,453,920,854	3,473,413,036	7,088	7,128
第76計算期間末日	(平成31年 4月 8日)	3,446,765,019	3,466,008,684	7,164	7,204
第77計算期間末日	(令和 1年 5月 7日)	3,371,191,256	3,390,350,338	7,038	7,078
第78計算期間末日	(令和 1年 6月 7日)	3,273,906,470	3,292,875,731	6,904	6,944
第79計算期間末日	(令和 1年 7月 8日)	3,303,389,699	3,322,453,512	6,931	6,971
第80計算期間末日	(令和 1年 8月 7日)	3,139,418,833	3,158,395,856	6,617	6,657
第81計算期間末日	(令和 1年 9月 9日)	3,144,559,583	3,163,399,360	6,676	6,716
第82計算期間末日	(令和 1年10月 7日)	3,116,990,872	3,126,410,661	6,618	6,638
第83計算期間末日	(令和 1年11月 7日)	3,063,118,007	3,072,173,103	6,766	6,786
第84計算期間末日	(令和 1年12月 9日)	2,980,065,803	2,988,919,234	6,732	6,752
第85計算期間末日	(令和 2年 1月 7日)	2,935,253,127	2,943,904,780	6,785	6,805
第86計算期間末日	(令和 2年 2月 7日)	2,855,462,901	2,864,017,628	6,676	6,696
第87計算期間末日	(令和 2年 3月 9日)	2,602,604,380	2,611,083,433	6,139	6,159
第88計算期間末日	(令和 2年 4月 7日)	2,425,253,745	2,433,542,689	5,852	5,872
第89計算期間末日	(令和 2年 5月 7日)	2,456,044,805	2,464,274,836	5,968	5,988
第90計算期間末日	(令和 2年 6月 8日)	2,747,174,222	2,755,348,479	6,722	6,742
第91計算期間末日	(令和 2年 7月 7日)	2,696,854,638	2,704,973,600	6,643	6,663
第92計算期間末日	(令和 2年 8月 7日)	2,758,174,834	2,766,292,622	6,795	6,815
第93計算期間末日	(令和 2年 9月 7日)	2,774,997,655	2,783,040,322	6,901	6,921
第94計算期間末日	(令和 2年10月 7日)	2,671,791,818	2,679,801,758	6,671	6,691
第95計算期間末日	(令和 2年11月 9日)	2,616,625,666	2,624,418,065	6,716	6,736
第96計算期間末日	(令和 2年12月 7日)	2,687,454,577	2,695,203,047	6,937	6,957
第97計算期間末日	(令和 3年 1月 7日)	2,705,899,366	2,713,425,392	7,191	7,211
第98計算期間末日	(令和 3年 2月 8日)	2,680,261,677	2,687,677,112	7,229	7,249
第99計算期間末日	(令和 3年 3月 8日)	2,682,422,001	2,689,746,651	7,324	7,344
第100計算期間末日	(令和 3年 4月 7日)	2,700,619,736	2,707,921,867	7,397	7,417
第101計算期間末日	(令和 3年 5月 7日)	2,631,232,956	2,638,282,628	7,465	7,485
第102計算期間末日	(令和 3年 6月 7日)	2,574,940,556	2,581,845,920	7,458	7,478
第103計算期間末日	(令和 3年 7月 7日)	2,494,912,754	2,498,333,247	7,294	7,304

第104計算期間末日	(令和 3年 8月10日)	2,439,659,555	2,443,060,982	7,172	7,182
第105計算期間末日	(令和 3年 9月 7日)	2,433,216,671	2,436,581,843	7,231	7,241
第106計算期間末日	(令和 3年10月 7日)	2,243,668,497	2,246,826,954	7,104	7,114
第107計算期間末日	(令和 3年11月 8日)	2,209,549,903	2,212,599,376	7,246	7,256
第108計算期間末日	(令和 3年12月 7日)	2,087,199,591	2,090,219,769	6,911	6,921
第109計算期間末日	(令和 4年 1月 7日)	2,130,345,756	2,133,330,869	7,137	7,147
第110計算期間末日	(令和 4年 2月 7日)	2,038,746,333	2,041,674,620	6,962	6,972
第111計算期間末日	(令和 4年 3月 7日)	2,046,368,608	2,049,225,385	7,163	7,173
第112計算期間末日	(令和 4年 4月 7日)	2,082,253,134	2,085,005,528	7,565	7,575
	令和 3年 4月末日	2,634,229,412	—	7,473	—
	5月末日	2,590,702,621	—	7,449	—
	6月末日	2,516,739,026	—	7,330	—
	7月末日	2,446,394,301	—	7,189	—
	8月末日	2,403,235,631	—	7,112	—
	9月末日	2,235,613,633	—	7,075	—
	10月末日	2,261,044,193	—	7,372	—
	11月末日	2,116,245,900	—	7,011	—
	12月末日	2,157,845,177	—	7,226	—
	令和 4年 1月末日	2,024,457,302	—	6,910	—
	2月末日	2,001,379,913	—	7,005	—
	3月末日	2,096,731,926	—	7,545	—
	4月末日	1,995,111,977	—	7,420	—

【分配の推移】

	1万口当たりの分配金
第1計算期間	—円
第2計算期間	—円
第3計算期間	60円
第4計算期間	60円
第5計算期間	60円
第6計算期間	60円
第7計算期間	60円
第8計算期間	60円
第9計算期間	60円
第10計算期間	60円
第11計算期間	60円
第12計算期間	60円
第13計算期間	60円
第14計算期間	60円
第15計算期間	60円
第16計算期間	60円

第17計算期間	60円
第18計算期間	60円
第19計算期間	60円
第20計算期間	60円
第21計算期間	60円
第22計算期間	60円
第23計算期間	60円
第24計算期間	60円
第25計算期間	60円
第26計算期間	60円
第27計算期間	60円
第28計算期間	60円
第29計算期間	60円
第30計算期間	60円
第31計算期間	60円
第32計算期間	60円
第33計算期間	60円
第34計算期間	60円
第35計算期間	60円
第36計算期間	60円
第37計算期間	60円
第38計算期間	60円
第39計算期間	60円
第40計算期間	60円
第41計算期間	60円
第42計算期間	60円
第43計算期間	60円
第44計算期間	60円
第45計算期間	60円
第46計算期間	60円
第47計算期間	60円
第48計算期間	60円
第49計算期間	60円
第50計算期間	60円
第51計算期間	60円
第52計算期間	60円
第53計算期間	60円
第54計算期間	60円
第55計算期間	60円
第56計算期間	60円
第57計算期間	60円
第58計算期間	60円
第59計算期間	60円

第60計算期間	60円
第61計算期間	60円
第62計算期間	60円
第63計算期間	60円
第64計算期間	60円
第65計算期間	60円
第66計算期間	60円
第67計算期間	60円
第68計算期間	60円
第69計算期間	60円
第70計算期間	60円
第71計算期間	60円
第72計算期間	40円
第73計算期間	40円
第74計算期間	40円
第75計算期間	40円
第76計算期間	40円
第77計算期間	40円
第78計算期間	40円
第79計算期間	40円
第80計算期間	40円
第81計算期間	40円
第82計算期間	20円
第83計算期間	20円
第84計算期間	20円
第85計算期間	20円
第86計算期間	20円
第87計算期間	20円
第88計算期間	20円
第89計算期間	20円
第90計算期間	20円
第91計算期間	20円
第92計算期間	20円
第93計算期間	20円
第94計算期間	20円
第95計算期間	20円
第96計算期間	20円
第97計算期間	20円
第98計算期間	20円
第99計算期間	20円
第100計算期間	20円
第101計算期間	20円
第102計算期間	20円

第103計算期間	10円
第104計算期間	10円
第105計算期間	10円
第106計算期間	10円
第107計算期間	10円
第108計算期間	10円
第109計算期間	10円
第110計算期間	10円
第111計算期間	10円
第112計算期間	10円

【収益率の推移】

	収益率（％）
第1計算期間	6.23
第2計算期間	4.68
第3計算期間	0.38
第4計算期間	6.81
第5計算期間	0.61
第6計算期間	8.43
第7計算期間	3.03
第8計算期間	3.69
第9計算期間	4.15
第10計算期間	1.51
第11計算期間	1.90
第12計算期間	0.50
第13計算期間	0.25
第14計算期間	1.34
第15計算期間	2.85
第16計算期間	2.86
第17計算期間	0.11
第18計算期間	1.57
第19計算期間	0.85
第20計算期間	0.04
第21計算期間	3.34
第22計算期間	2.89
第23計算期間	3.82
第24計算期間	3.23
第25計算期間	4.27
第26計算期間	2.97
第27計算期間	1.18
第28計算期間	1.89

第29計算期間	3.51
第30計算期間	0.79
第31計算期間	3.71
第32計算期間	0.17
第33計算期間	9.31
第34計算期間	4.08
第35計算期間	0.74
第36計算期間	3.53
第37計算期間	6.35
第38計算期間	1.03
第39計算期間	1.18
第40計算期間	0.02
第41計算期間	3.93
第42計算期間	0.64
第43計算期間	3.32
第44計算期間	2.66
第45計算期間	0.53
第46計算期間	0.56
第47計算期間	1.39
第48計算期間	5.31
第49計算期間	0.68
第50計算期間	0.58
第51計算期間	1.51
第52計算期間	2.36
第53計算期間	0.21
第54計算期間	0.56
第55計算期間	4.01
第56計算期間	2.67
第57計算期間	0.18
第58計算期間	0.23
第59計算期間	1.02
第60計算期間	2.67
第61計算期間	4.35
第62計算期間	2.94
第63計算期間	4.69
第64計算期間	0.20
第65計算期間	0.24
第66計算期間	3.00
第67計算期間	2.01
第68計算期間	0.03
第69計算期間	2.79
第70計算期間	0.38
第71計算期間	2.67

第72計算期間	0.12
第73計算期間	4.60
第74計算期間	1.79
第75計算期間	1.10
第76計算期間	1.63
第77計算期間	1.20
第78計算期間	1.33
第79計算期間	0.97
第80計算期間	3.95
第81計算期間	1.49
第82計算期間	0.56
第83計算期間	2.53
第84計算期間	0.20
第85計算期間	1.08
第86計算期間	1.31
第87計算期間	7.74
第88計算期間	4.34
第89計算期間	2.32
第90計算期間	12.96
第91計算期間	0.87
第92計算期間	2.58
第93計算期間	1.85
第94計算期間	3.04
第95計算期間	0.97
第96計算期間	3.58
第97計算期間	3.94
第98計算期間	0.80
第99計算期間	1.59
第100計算期間	1.26
第101計算期間	1.18
第102計算期間	0.17
第103計算期間	2.06
第104計算期間	1.53
第105計算期間	0.96
第106計算期間	1.61
第107計算期間	2.13
第108計算期間	4.48
第109計算期間	3.41
第110計算期間	2.31
第111計算期間	3.03
第112計算期間	5.75

（注）「収益率」とは、計算期間末の基準価額（分配付の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額）を控除した額を当該基準価額（分配落の額）で除して得た数に100を乗じて得た数をいう。

（４）【設定及び解約の実績】

	設定口数	解約口数	発行済口数
第1計算期間	16,190,937,189	8,690,622	16,182,246,567
第2計算期間	1,294,583,609	2,364,259,882	15,112,570,294
第3計算期間	472,588,863	2,221,238,404	13,363,920,753
第4計算期間	378,771,846	2,219,232,205	11,523,460,394
第5計算期間	704,370,401	1,586,057,148	10,641,773,647
第6計算期間	134,607,904	2,024,841,826	8,751,539,725
第7計算期間	211,907,755	3,322,229,472	5,641,218,008
第8計算期間	150,175,668	649,350,958	5,142,042,718
第9計算期間	81,219,235	471,148,665	4,752,113,288
第10計算期間	148,694,220	337,334,650	4,563,472,858
第11計算期間	185,345,902	266,860,837	4,481,957,923
第12計算期間	61,219,941	332,390,333	4,210,787,531
第13計算期間	156,971,260	192,591,156	4,175,167,635
第14計算期間	106,611,678	241,494,306	4,040,285,007
第15計算期間	50,607,574	152,461,348	3,938,431,233
第16計算期間	293,562,388	270,782,718	3,961,210,903
第17計算期間	198,817,215	211,478,311	3,948,549,807
第18計算期間	213,905,600	230,402,290	3,932,053,117
第19計算期間	341,464,790	101,075,577	4,172,442,330
第20計算期間	523,580,662	221,038,395	4,474,984,597
第21計算期間	848,876,470	135,129,392	5,188,731,675
第22計算期間	921,435,883	316,739,530	5,793,428,028
第23計算期間	599,213,813	132,392,101	6,260,249,740
第24計算期間	541,369,137	509,304,356	6,292,314,521
第25計算期間	733,813,252	171,505,781	6,854,621,992
第26計算期間	483,550,530	114,571,686	7,223,600,836
第27計算期間	559,299,304	333,306,105	7,449,594,035
第28計算期間	905,192,430	182,126,107	8,172,660,358
第29計算期間	175,980,390	201,177,892	8,147,462,856
第30計算期間	327,169,364	434,692,376	8,039,939,844
第31計算期間	283,416,756	265,516,759	8,057,839,841
第32計算期間	167,981,181	108,579,607	8,117,241,415
第33計算期間	79,454,924	267,005,829	7,929,690,510
第34計算期間	53,005,697	211,711,334	7,770,984,873
第35計算期間	23,484,825	124,520,663	7,669,949,035
第36計算期間	62,088,338	203,429,822	7,528,607,551
第37計算期間	128,222,817	365,448,447	7,291,381,921
第38計算期間	61,196,730	115,478,221	7,237,100,430
第39計算期間	22,814,842	88,412,103	7,171,503,169

第40計算期間	87,928,953	130,358,450	7,129,073,672
第41計算期間	24,349,370	177,071,628	6,976,351,414
第42計算期間	116,174,164	50,226,702	7,042,298,876
第43計算期間	103,091,169	138,330,811	7,007,059,234
第44計算期間	91,731,591	81,630,463	7,017,160,362
第45計算期間	172,596,368	122,210,848	7,067,545,882
第46計算期間	273,372,040	104,905,761	7,236,012,161
第47計算期間	52,788,959	62,994,034	7,225,807,086
第48計算期間	66,712,350	120,033,946	7,172,485,490
第49計算期間	72,066,652	277,868,758	6,966,683,384
第50計算期間	98,604,277	98,676,213	6,966,611,448
第51計算期間	69,936,004	247,958,776	6,788,588,676
第52計算期間	99,337,845	150,545,135	6,737,381,386
第53計算期間	16,239,542	69,269,794	6,684,351,134
第54計算期間	58,400,553	54,330,206	6,688,421,481
第55計算期間	55,484,506	156,497,333	6,587,408,654
第56計算期間	59,913,678	169,959,597	6,477,362,735
第57計算期間	47,507,572	136,312,856	6,388,557,451
第58計算期間	31,549,068	158,584,918	6,261,521,601
第59計算期間	39,441,427	281,794,343	6,019,168,685
第60計算期間	17,298,237	189,299,138	5,847,167,784
第61計算期間	49,244,042	231,229,921	5,665,181,905
第62計算期間	9,761,256	71,821,215	5,603,121,946
第63計算期間	16,305,713	103,009,221	5,516,418,438
第64計算期間	24,254,880	65,304,389	5,475,368,929
第65計算期間	16,989,346	39,790,954	5,452,567,321
第66計算期間	15,809,884	103,645,928	5,364,731,277
第67計算期間	17,556,717	99,255,262	5,283,032,732
第68計算期間	11,326,474	72,013,927	5,222,345,279
第69計算期間	14,675,638	91,439,064	5,145,581,853
第70計算期間	11,228,662	54,191,370	5,102,619,145
第71計算期間	11,153,718	41,172,775	5,072,600,088
第72計算期間	11,436,082	44,066,231	5,039,969,939
第73計算期間	9,905,968	67,214,720	4,982,661,187
第74計算期間	13,120,235	33,768,821	4,962,012,601
第75計算期間	17,294,719	106,261,790	4,873,045,530
第76計算期間	8,965,779	71,094,866	4,810,916,443
第77計算期間	7,046,040	28,191,885	4,789,770,598
第78計算期間	13,080,589	60,535,756	4,742,315,431
第79計算期間	45,342,857	21,704,846	4,765,953,442
第80計算期間	9,499,542	31,197,065	4,744,255,919
第81計算期間	10,429,070	44,740,661	4,709,944,328
第82計算期間	9,370,981	9,420,795	4,709,894,514

第83計算期間	4,326,943	186,673,172	4,527,548,285
第84計算期間	4,177,661	105,009,966	4,426,715,980
第85計算期間	6,369,104	107,258,574	4,325,826,510
第86計算期間	4,973,355	53,436,254	4,277,363,611
第87計算期間	5,672,704	43,509,689	4,239,526,626
第88計算期間	10,748,817	105,803,394	4,144,472,049
第89計算期間	4,356,667	33,813,008	4,115,015,708
第90計算期間	8,669,461	36,556,372	4,087,128,797
第91計算期間	5,850,617	33,498,123	4,059,481,291
第92計算期間	10,197,183	10,783,985	4,058,894,489
第93計算期間	5,123,972	42,684,903	4,021,333,558
第94計算期間	5,390,300	21,753,801	4,004,970,057
第95計算期間	8,277,995	117,048,286	3,896,199,766
第96計算期間	4,130,980	26,095,253	3,874,235,493
第97計算期間	4,208,627	115,430,796	3,763,013,324
第98計算期間	6,942,243	62,237,763	3,707,717,804
第99計算期間	7,004,797	52,397,311	3,662,325,290
第100計算期間	15,190,908	26,450,413	3,651,065,785
第101計算期間	4,257,047	130,486,523	3,524,836,309
第102計算期間	3,240,615	75,394,756	3,452,682,168
第103計算期間	3,844,419	36,032,965	3,420,493,622
第104計算期間	6,059,484	25,125,326	3,401,427,780
第105計算期間	3,856,926	40,111,772	3,365,172,934
第106計算期間	1,559,579	208,275,281	3,158,457,232
第107計算期間	1,514,716	110,498,945	3,049,473,003
第108計算期間	3,270,586	32,564,989	3,020,178,600
第109計算期間	2,371,696	37,437,059	2,985,113,237
第110計算期間	2,779,757	59,605,381	2,928,287,613
第111計算期間	1,550,768	73,061,102	2,856,777,279
第112計算期間	1,970,473	106,353,387	2,752,394,365

（参考）

マッコーリー オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド

投資状況

令和 4年 4月28日現在

（単位：円）

資産の種類	国／地域	時価合計	投資比率（％）
特殊債券	オーストラリア	209,471,236	3.48
社債券	オーストラリア	5,022,390,856	83.41
	アメリカ	493,501,697	8.20

	小計	5,515,892,553	91.60
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）	—	296,246,841	4.92
純資産総額		6,021,610,630	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

その他の資産の投資状況

令和 4年 4月28日現在

（単位：円）

資産の種類	建別	国／地域	時価合計	投資比率（％）
債券先物取引	買建	オーストラリア	1,016,091,848	16.87
	売建	アメリカ	1,252,197,050	20.80

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

投資資産

投資有価証券の主要銘柄

a 評価額上位 30 銘柄

令和 4年 4月28日現在

国／地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	利率 (％)	償還期限 (年/月/日)	投資 比率 (％)
オーストラリア	社債券	2.119 AGI FINANCE 270624	2,400,000	8,941.16	214,587,950	8,158.71	195,809,049	2.119000	2027/6/24	3.25
オーストラリア	社債券	FRN NATIONAL A 290517	2,000,000	9,463.73	189,274,779	9,316.09	186,321,984	2.230000	2029/5/17	3.09
オーストラリア	社債券	FRN COMMONWEALT 300910	2,000,000	9,403.83	188,076,699	9,183.55	183,671,083	1.945000	2030/9/10	3.05
オーストラリア	社債券	FRN WESTPAC BAN 280614	1,900,000	9,736.35	184,990,811	9,275.89	176,242,095	4.800000	2028/6/14	2.93
オーストラリア	社債券	FRN WESTPAC BAN 290816	1,800,000	9,878.98	177,821,729	9,183.53	165,303,579	4.334000	2029/8/16	2.75
オーストラリア	社債券	3.2 COMMONWEALT 230816	1,700,000	9,646.84	163,996,280	9,232.76	156,957,005	3.200000	2023/8/16	2.61
オーストラリア	社債券	FRN AUST & NZ B 310226	1,700,000	9,386.86	159,576,706	9,149.72	155,545,337	1.929800	2031/2/26	2.58
オーストラリア	社債券	FRN SUNCORP-MET 281205	1,600,000	9,420.73	150,731,707	9,292.52	148,680,341	2.285000	2028/12/5	2.47
オーストラリア	社債券	FRN NATIONAL A 301118	1,600,000	9,350.06	149,601,111	9,126.16	146,018,689	1.780000	2030/11/18	2.42
オーストラリア	社債券	2.5 SUNCORP-MET 270125	1,600,000	9,144.32	146,309,184	8,531.36	136,501,779	2.500000	2027/1/25	2.27
オーストラリア	社債券	FRN BANK OF QUEEN 261027	1,500,000	9,170.00	137,550,000	8,995.75	134,936,264	1.329300	2026/10/27	2.24
アメリカ	社債券	FRN SCENTRE GRO 800924	1,000,000	13,739.69	137,396,975	12,467.20	124,672,050	4.750000	2080/9/24	2.07
オーストラリア	特殊債券	1 NBN CO LTD 251203	1,500,000	9,017.54	135,263,213	8,220.18	123,302,792	1.000000	2025/12/3	2.05
オーストラリア	社債券	4 CALTEX AUSTRALI 250417	1,300,000	9,926.16	129,040,093	9,144.02	118,872,382	4.000000	2025/4/17	1.97

アメリカ	社債券	3.65 WOODSIDE FI 250305	925,000	13,705.84	126,779,063	12,816.92	118,556,572	3.650000	2025/3/5	1.97
オーストラリア	社債券	FRN MACQUARIE B 300528	1,200,000	9,684.66	116,216,027	9,433.75	113,205,069	2.979800	2030/5/28	1.88
オーストラリア	社債券	3.9 BRISBANE AIRP 250424	1,250,000	9,821.77	122,772,224	9,002.84	112,535,580	3.900000	2025/4/24	1.87
オーストラリア	社債券	4.5 WSO FINANCE P 270331	1,200,000	10,455.56	125,466,771	9,278.28	111,339,374	4.500000	2027/3/31	1.85
オーストラリア	社債券	FRN AUSNET SERV 801006	1,200,000	9,378.95	112,547,427	9,158.50	109,902,111	3.384200	2080/10/6	1.83
オーストラリア	社債券	1.814 AUSGRID FIN 270205	1,300,000	9,010.71	117,139,280	8,068.81	104,894,608	1.814000	2027/2/5	1.74
オーストラリア	社債券	3.85 UNITED ENERG 241023	1,100,000	9,970.54	109,675,951	9,229.09	101,520,016	3.850000	2024/10/23	1.69
オーストラリア	社債券	5.25 PACIFIC NATI 250519	1,000,000	10,112.82	101,128,264	9,276.14	92,761,437	5.250000	2025/5/19	1.54
オーストラリア	社債券	4.225 DBNGP FINAN 250528	1,000,000	10,025.64	100,256,454	9,199.33	91,993,339	4.225000	2025/5/28	1.53
オーストラリア	社債券	4 AURIZON NETWORK 240621	1,000,000	9,794.86	97,948,603	9,195.77	91,957,741	4.000000	2024/6/21	1.53
オーストラリア	社債券	4.3 INCITEC PIVOT 260318	1,000,000	9,994.69	99,946,976	9,051.98	90,519,892	4.300000	2026/3/18	1.50
オーストラリア	社債券	2.525 GPT WHL OFF 260112	1,000,000	9,574.54	95,745,446	8,737.52	87,375,258	2.525000	2026/1/12	1.45
アメリカ	社債券	4.875 MACQUARIE B 250610	650,000	14,269.69	92,753,017	13,077.64	85,004,722	4.875000	2025/6/10	1.41
オーストラリア	社債券	3.15 WESTCONNEX F 310331	1,100,000	9,191.25	101,103,777	7,707.29	84,780,210	3.150000	2031/3/31	1.41
オーストラリア	社債券	FRN AMPOL LTD 811202	900,000	9,170.00	82,530,000	9,148.36	82,335,257	3.580200	2081/12/2	1.37
オーストラリア	社債券	3 AURIZON FINANCE 280309	1,000,000	8,926.22	89,262,286	8,030.32	80,303,228	3.000000	2028/3/9	1.33

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類 / 業種別投資比率

令和 4年 4月28日現在

種類	投資比率（％）
特殊債券	3.48
社債券	91.60
合計	95.08

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

令和 4年 4月28日現在

資産の種類	地域	取引所名	資産の名称	建別	数量	通貨	簿価金額	簿価金額（円）	評価金額	評価金額（円）	投資比率（％）
債券先物取引	アメリカ	シカゴ商品取引所	NOTE2Y 2206	売建	46	アメリカドル	9,858,015.65	1,270,303,897	9,717,500	1,252,197,050	20.80

オーストラリア	シドニー先物取引所	AUST5YR 2206	買建	13	オーストラリアドル	1,285,503.83	117,880,701	1,241,807.97	113,873,791	1.89
オーストラリア	シドニー先物取引所	AUST10Y 2206	買建	57	オーストラリアドル	7,526,131.69	690,146,275	7,112,018.82	652,172,125	10.83
オーストラリア	シドニー先物取引所	AUST3Y 2206	買建	25	オーストラリアドル	2,793,270.64	256,142,918	2,726,782.25	250,045,932	4.15

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該投資資産の評価金額の比率です。

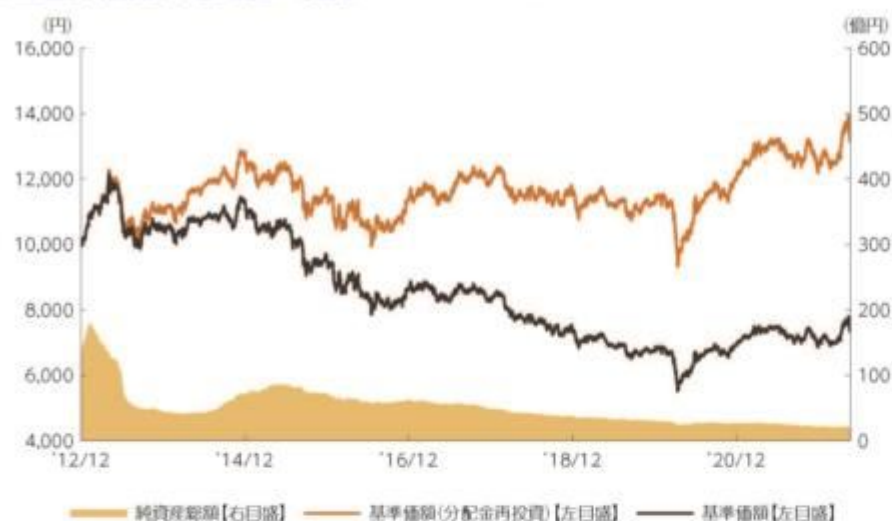
参考情報



運用実績

2022年4月28日現在

■基準価額・純資産の推移 2012年12月7日(設定日)～2022年4月28日



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は10,000を起点として表示
- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は運用報酬(信託報酬)控除後です。

■基準価額・純資産

基準価額	7,420円
純資産総額	19.9億円

・純資産総額は表示桁未満切捨て

■分配の推移

2022年 4月	10円
2022年 3月	10円
2022年 2月	10円
2022年 1月	10円
2021年 12月	10円
2021年 11月	10円
直近1年間累計	140円
設定来累計	5,060円

・分配金は1万口当たり、税引前

■主要な資産の状況

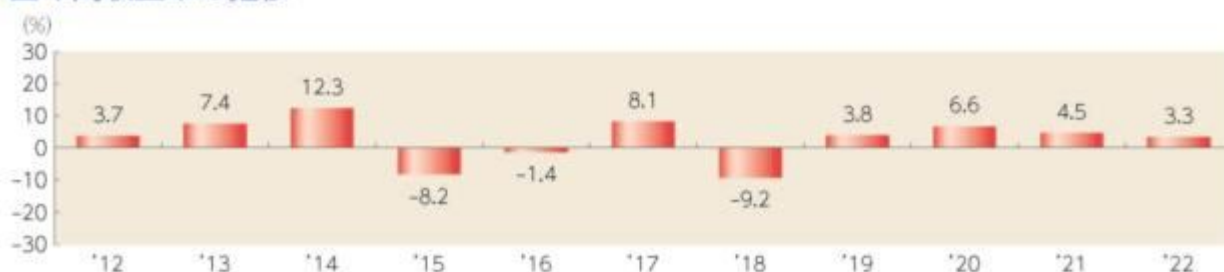
種別構成	比率
特殊債	3.5%
社債	91.0%
コールローン他 (負債控除後)	5.5%
合計	100.0%

組入上位銘柄	種別	比率
1 2.119 AGI FINANCE 270624	社債	3.2%
2 FRN NATIONAL A 290517	社債	3.1%
3 FRN COMMONWEALTH 300910	社債	3.0%
4 FRN WESTPAC BAN 280614	社債	2.9%
5 FRN WESTPAC BAN 290816	社債	2.7%
6 3.2 COMMONWEALTH 230816	社債	2.6%
7 FRN AUST & NZ B 310226	社債	2.6%
8 FRN SUNCORP-MET 281205	社債	2.5%
9 FRN NATIONAL A 301118	社債	2.4%
10 2.5 SUNCORP-MET 270125	社債	2.3%

その他資産の状況	比率
債券先物取引 (買建)	16.8%
債券先物取引 (売建)	-20.6%

- ・各比率はファンドの純資産総額に対する投資比率(小数点第二位四捨五入)
- ・コールローン他には未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。

■年間収益率の推移



- ・収益率は基準価額(分配金再投資)で計算
- ・2012年は設定日から年末までの、2022年は年初から4月28日までの収益率を表示
- ・ファンドにベンチマークはありません。

上記は、過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。
運用状況等は、委託会社のホームページ等で開示している場合があります。

第３【ファンドの経理状況】

- 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）ならびに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づいて作成しております。
なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。
- 毎月決算ファンドの計算期間は6ヵ月未満であるため、財務諸表は6ヵ月毎に作成しております。
- 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当期（令和3年10月8日から令和4年4月7日まで）の財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人により監査を受けております。
- 令和4年3月26日をもって、ファンドの名称を「三菱ＵＦＪ／ＡＭＰ オーストラリア・ハイインカム債券ファンド（毎月決算型）」から「三菱ＵＦＪ／マッコーリー オーストラリア・ハイインカム債券ファンド（毎月決算型）」に変更いたしました。また、当ファンドが主要投資対象とする親投資信託の名称も「ＡＭＰ オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド」から「マッコーリー オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド」に変更いたしました。

１【財務諸表】

【三菱ＵＦＪ／マッコーリー オーストラリア・ハイインカム債券ファンド（毎月決算型）】

（１）【貸借対照表】

(単位：円)		
	前期 [令和 3年10月 7日現在]	当期 [令和 4年 4月 7日現在]
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	14,866,117	22,978,956
親投資信託受益証券	2,235,903,822	2,066,954,575
流動資産合計	2,250,769,939	2,089,933,531
資産合計	2,250,769,939	2,089,933,531
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	3,158,457	2,752,394
未払解約金	1,032,121	2,204,618
未払受託者報酬	82,918	77,578
未払委託者報酬	2,819,247	2,637,670
未払利息	4	2
その他未払費用	8,695	8,135
流動負債合計	7,101,442	7,680,397
負債合計	7,101,442	7,680,397
純資産の部		
元本等		
元本	3,158,457,232	2,752,394,365
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	914,788,735	670,141,231
（分配準備積立金）	1,326,698	7,823,789
元本等合計	2,243,668,497	2,082,253,134
純資産合計	2,243,668,497	2,082,253,134

前期
[令和 3年10月 7日現在] 当期
[令和 4年 4月 7日現在]

負債純資産合計	2,250,769,939	2,089,933,531
---------	---------------	---------------

（２）【損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	前期 自 令和 3年 4月 8日 至 令和 3年10月 7日	当期 自 令和 3年10月 8日 至 令和 4年 4月 7日
営業収益		
受取利息	34	14
有価証券売買等損益	52,696,504	167,050,753
営業収益合計	52,696,470	167,050,767
営業費用		
支払利息	1,808	1,550
受託者報酬	549,972	466,821
委託者報酬	18,699,061	15,871,900
その他費用	57,687	48,954
営業費用合計	19,308,528	16,389,225
営業利益又は営業損失（ ）	72,004,998	150,661,542
経常利益又は経常損失（ ）	72,004,998	150,661,542
当期純利益又は当期純損失（ ）	72,004,998	150,661,542
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）	3,045,704	6,500,975
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	950,446,049	914,788,735
剰余金増加額又は欠損金減少額	138,065,130	121,968,950
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	138,065,130	121,968,950
剰余金減少額又は欠損金増加額	6,147,937	3,889,791
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	6,147,937	3,889,791
分配金	27,300,585	17,592,222
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	914,788,735	670,141,231

（３）【注記表】

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、基準価額で評価しております。
--------------------	---

（重要な会計上の見積りに関する注記）

財務諸表の作成にあたって行った会計上の見積りが翌特定期間の財務諸表に重要な影響を及ぼすリスクは識別していないため、注記を省略しております。

（貸借対照表に関する注記）

	前期 [令和 3年10月 7日現在]	当期 [令和 4年 4月 7日現在]
1. 期首元本額	3,651,065,785円	3,158,457,232円
期中追加設定元本額	22,818,070円	13,457,996円
期中一部解約元本額	515,426,623円	419,520,863円

2. 元本の欠損 純資産額が元本総額を下回っており、その差額であります。	914,788,735円	670,141,231円
3. 受益権の総数	3,158,457,232口	2,752,394,365口

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

前期 自 令和 3年 4月 8日 至 令和 3年10月 7日	当期 自 令和 3年10月 8日 至 令和 4年 4月 7日																																																												
1.運用に係る権限を委託するための費用 「AMP オーストラリア・ハイインカム債券マザーファ ンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部 を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親 投資信託の信託財産の純資産総額に対し年10,000分の44以内 の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しておりま す。 2.分配金の計算過程 第101期 令和 3年 4月 8日 令和 3年 5月 7日	1.運用に係る権限を委託するための費用 「マッコリー オーストラリア・ハイインカム債券マ ザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部ま たは一部を委託するために要する費用として、信託財産に属 する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年10,000分 の44以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁して おります。 2.分配金の計算過程 第107期 令和 3年10月 8日 令和 3年11月 8日																																																												
<table><tr><th>項目</th><th></th><th></th></tr><tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>6,388,485円</td></tr><tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填 後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>—円</td></tr><tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>89,259,375円</td></tr><tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>240,617円</td></tr><tr><td>当ファンドの分配対象収益額</td><td>E=A+B+C+D</td><td>95,888,477円</td></tr><tr><td>当ファンドの期末残存口数</td><td>F</td><td>3,524,836,309口</td></tr><tr><td>1万口当たり収益分配対象額</td><td>G=E/F*10,000</td><td>272円</td></tr><tr><td>1万口当たり分配金額</td><td>H</td><td>20円</td></tr><tr><td>収益分配金金額</td><td>I=F*H/10,000</td><td>7,049,672円</td></tr></table> 第102期 令和 3年 5月 8日 令和 3年 6月 7日	項目			費用控除後の配当等収益額	A	6,388,485円	費用控除後・繰越欠損金補填 後の有価証券売買等損益額	B	—円	収益調整金額	C	89,259,375円	分配準備積立金額	D	240,617円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	95,888,477円	当ファンドの期末残存口数	F	3,524,836,309口	1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	272円	1万口当たり分配金額	H	20円	収益分配金金額	I=F*H/10,000	7,049,672円	<table><tr><th>項目</th><th></th><th></th></tr><tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>5,590,493円</td></tr><tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填 後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>—円</td></tr><tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>74,198,803円</td></tr><tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>1,280,301円</td></tr><tr><td>当ファンドの分配対象収益額</td><td>E=A+B+C+D</td><td>81,069,597円</td></tr><tr><td>当ファンドの期末残存口数</td><td>F</td><td>3,049,473,003口</td></tr><tr><td>1万口当たり収益分配対象額</td><td>G=E/F*10,000</td><td>265円</td></tr><tr><td>1万口当たり分配金額</td><td>H</td><td>10円</td></tr><tr><td>収益分配金金額</td><td>I=F*H/10,000</td><td>3,049,473円</td></tr></table> 第108期 令和 3年11月 9日 令和 3年12月 7日	項目			費用控除後の配当等収益額	A	5,590,493円	費用控除後・繰越欠損金補填 後の有価証券売買等損益額	B	—円	収益調整金額	C	74,198,803円	分配準備積立金額	D	1,280,301円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	81,069,597円	当ファンドの期末残存口数	F	3,049,473,003口	1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	265円	1万口当たり分配金額	H	10円	収益分配金金額	I=F*H/10,000	3,049,473円
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	6,388,485円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填 後の有価証券売買等損益額	B	—円																																																											
収益調整金額	C	89,259,375円																																																											
分配準備積立金額	D	240,617円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	95,888,477円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	3,524,836,309口																																																											
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	272円																																																											
1万口当たり分配金額	H	20円																																																											
収益分配金金額	I=F*H/10,000	7,049,672円																																																											
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	5,590,493円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填 後の有価証券売買等損益額	B	—円																																																											
収益調整金額	C	74,198,803円																																																											
分配準備積立金額	D	1,280,301円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	81,069,597円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	3,049,473,003口																																																											
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	265円																																																											
1万口当たり分配金額	H	10円																																																											
収益分配金金額	I=F*H/10,000	3,049,473円																																																											
<table><tr><th>項目</th><th></th><th></th></tr><tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>4,090,726円</td></tr><tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填 後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>—円</td></tr><tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>86,747,109円</td></tr><tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>278,320円</td></tr><tr><td>当ファンドの分配対象収益額</td><td>E=A+B+C+D</td><td>91,116,155円</td></tr><tr><td>当ファンドの期末残存口数</td><td>F</td><td>3,452,682,168口</td></tr><tr><td>1万口当たり収益分配対象額</td><td>G=E/F*10,000</td><td>263円</td></tr><tr><td>1万口当たり分配金額</td><td>H</td><td>20円</td></tr><tr><td>収益分配金金額</td><td>I=F*H/10,000</td><td>6,905,364円</td></tr></table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	4,090,726円	費用控除後・繰越欠損金補填 後の有価証券売買等損益額	B	—円	収益調整金額	C	86,747,109円	分配準備積立金額	D	278,320円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	91,116,155円	当ファンドの期末残存口数	F	3,452,682,168口	1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	263円	1万口当たり分配金額	H	20円	収益分配金金額	I=F*H/10,000	6,905,364円	<table><tr><th>項目</th><th></th><th></th></tr><tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>2,392,935円</td></tr><tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填 後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>—円</td></tr><tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>73,492,912円</td></tr><tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>3,780,529円</td></tr><tr><td>当ファンドの分配対象収益額</td><td>E=A+B+C+D</td><td>79,666,376円</td></tr><tr><td>当ファンドの期末残存口数</td><td>F</td><td>3,020,178,600口</td></tr><tr><td>1万口当たり収益分配対象額</td><td>G=E/F*10,000</td><td>263円</td></tr><tr><td>1万口当たり分配金額</td><td>H</td><td>10円</td></tr><tr><td>収益分配金金額</td><td>I=F*H/10,000</td><td>3,020,178円</td></tr></table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	2,392,935円	費用控除後・繰越欠損金補填 後の有価証券売買等損益額	B	—円	収益調整金額	C	73,492,912円	分配準備積立金額	D	3,780,529円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	79,666,376円	当ファンドの期末残存口数	F	3,020,178,600口	1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	263円	1万口当たり分配金額	H	10円	収益分配金金額	I=F*H/10,000	3,020,178円
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	4,090,726円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填 後の有価証券売買等損益額	B	—円																																																											
収益調整金額	C	86,747,109円																																																											
分配準備積立金額	D	278,320円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	91,116,155円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	3,452,682,168口																																																											
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	263円																																																											
1万口当たり分配金額	H	20円																																																											
収益分配金金額	I=F*H/10,000	6,905,364円																																																											
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	2,392,935円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填 後の有価証券売買等損益額	B	—円																																																											
収益調整金額	C	73,492,912円																																																											
分配準備積立金額	D	3,780,529円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	79,666,376円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	3,020,178,600口																																																											
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	263円																																																											
1万口当たり分配金額	H	10円																																																											
収益分配金金額	I=F*H/10,000	3,020,178円																																																											

第103期

令和 3年 6月 8日

令和 3年 7月 7日

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	3,361,395円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	—円
収益調整金額	C	83,207,924円
分配準備積立金額	D	223,473円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	86,792,792円
当ファンドの期末残存口数	F	3,420,493,622口
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	253円
1万口当たり分配金額	H	10円
収益分配金金額	I=F*H/10,000	3,420,493円

第104期

令和 3年 7月 8日

令和 3年 8月10日

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	3,554,929円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	—円
収益調整金額	C	82,753,023円
分配準備積立金額	D	163,168円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	86,471,120円
当ファンドの期末残存口数	F	3,401,427,780口
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	254円
1万口当たり分配金額	H	10円
収益分配金金額	I=F*H/10,000	3,401,427円

第105期

令和 3年 8月11日

令和 3年 9月 7日

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	5,064,970円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	—円
収益調整金額	C	81,875,602円
分配準備積立金額	D	312,938円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	87,253,510円
当ファンドの期末残存口数	F	3,365,172,934口
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	259円
1万口当たり分配金額	H	10円
収益分配金金額	I=F*H/10,000	3,365,172円

第106期

令和 3年 9月 8日

令和 3年10月 7日

項目		
----	--	--

第109期

令和 3年12月 8日

令和 4年 1月 7日

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	5,108,879円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	—円
収益調整金額	C	72,644,486円
分配準備積立金額	D	3,114,215円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	80,867,580円
当ファンドの期末残存口数	F	2,985,113,237口
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	270円
1万口当たり分配金額	H	10円
収益分配金金額	I=F*H/10,000	2,985,113円

第110期

令和 4年 1月 8日

令和 4年 2月 7日

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	2,403,175円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	—円
収益調整金額	C	71,270,115円
分配準備積立金額	D	5,133,466円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	78,806,756円
当ファンドの期末残存口数	F	2,928,287,613口
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	269円
1万口当たり分配金額	H	10円
収益分配金金額	I=F*H/10,000	2,928,287円

第111期

令和 4年 2月 8日

令和 4年 3月 7日

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	4,178,958円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	—円
収益調整金額	C	69,533,625円
分配準備積立金額	D	4,493,417円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	78,206,000円
当ファンドの期末残存口数	F	2,856,777,279口
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	273円
1万口当たり分配金額	H	10円
収益分配金金額	I=F*H/10,000	2,856,777円

第112期

令和 4年 3月 8日

令和 4年 4月 7日

項目		
----	--	--

費用控除後の配当等収益額	A	2,596,965円	費用控除後の配当等収益額	A	4,976,975円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	—円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	—円
収益調整金額	C	76,847,811円	収益調整金額	C	66,998,219円
分配準備積立金額	D	1,888,190円	分配準備積立金額	D	5,599,208円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	81,332,966円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	77,574,402円
当ファンドの期末残存口数	F	3,158,457,232口	当ファンドの期末残存口数	F	2,752,394,365口
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	257円	1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	281円
1万口当たり分配金額	H	10円	1万口当たり分配金額	H	10円
収益分配金金額	I=F*H/10,000	3,158,457円	収益分配金金額	I=F*H/10,000	2,752,394円

（金融商品に関する注記）

1 金融商品の状況に関する事項

区分	前期 自 令和 3年 4月 8日 至 令和 3年10月 7日	当期 自 令和 3年10月 8日 至 令和 4年 4月 7日
1.金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」（昭和26年法律第198号）第2条第4項に定める証券投資信託であり、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。	同左
2.金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドは、親投資信託受益証券に投資しております。当該投資対象は、価格変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクに晒されております。	同左
3.金融商品に係るリスク管理体制	ファンドのコンセプトに応じて、適切にコントロールするため、委託会社では、運用部門において、ファンドに含まれる各種投資リスクを常時把握しつつ、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲で運用を行っております。 また、運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っており、この結果は運用管理委員会等を通じて運用部門にフィードバックされます。	同左

2 金融商品の時価等に関する事項

区分	前期 [令和 3年10月 7日現在]	当期 [令和 4年 4月 7日現在]
----	-------------------------	-------------------------

1.貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。	同左
2.時価の算定方法	（１）有価証券 売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 （２）デリバティブ取引 デリバティブ取引は、該当事項はありません。 （３）上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。	（１）有価証券 同左 （２）デリバティブ取引 同左 （３）上記以外の金融商品 同左
3.金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（有価証券に関する注記）

売買目的有価証券

種類	前期 [令和 3年10月 7日現在]	当期 [令和 4年 4月 7日現在]
	最終計算期間の損益に含まれた評価差額 (円)	最終計算期間の損益に含まれた評価差額 (円)
親投資信託受益証券	34,208,014	115,594,097
合計	34,208,014	115,594,097

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

（関連当事者との取引に関する注記）

該当事項はありません。

（１口当たり情報）

	前期 [令和 3年10月 7日現在]	当期 [令和 4年 4月 7日現在]
1口当たり純資産額	0.7104円	0.7565円
(1万口当たり純資産額)	(7,104円)	(7,565円)

（４）【附属明細表】

第１ 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券

（単位：円）

種 類	銘 柄	口数	評価額	備考
親投資信託受益証券	マッコーリー オーストラリア・ハイインカム債券 マザーファンド	1,321,075,403	2,066,954,575	
合計		1,321,075,403	2,066,954,575	

第２ 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第３ デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

（参考）

当ファンドの主要投資対象の状況は以下の通りです。
なお、以下に記載した情報は、監査の対象外であります。

マッコーリー オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド

貸借対照表

（単位：円）

[令和 4年 4月 7日現在]

資産の部	
流動資産	
預金	106,656,984
コール・ローン	52,220,659
特殊債券	167,500,673
社債券	5,823,487,586
派生商品評価勘定	56,394,329
未収利息	48,856,612
前払費用	302,593
差入委託証拠金	189,423,706
流動資産合計	6,444,843,142
資産合計	6,444,843,142
負債の部	
流動負債	
派生商品評価勘定	68,182,027
未払解約金	29,650,000
未払利息	4
流動負債合計	97,832,031
負債合計	97,832,031
純資産の部	
元本等	
元本	4,056,687,727
剰余金	
剰余金又は欠損金（ ）	2,290,323,384
元本等合計	6,347,011,111
純資産合計	6,347,011,111
負債純資産合計	6,444,843,142

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	公社債は時価で評価しております。時価評価にあたっては、価格情報会社等の提供する理論価格で評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	先物取引は金融商品取引所等における清算値段で評価しております。 為替予約取引は原則としてわが国における対顧客先物相場の仲値で評価しております。
3. その他財務諸表作成のための基礎となる事項	外貨建資産等の会計処理 「投資信託財産の計算に関する規則」第60条および第61条にしたがって処理しております。

（重要な会計上の見積りに関する注記）

財務諸表の作成にあたって行った会計上の見積りが翌期間の財務諸表に重要な影響を及ぼすリスクは識別していないため、注記を省略しております。

（貸借対照表に関する注記）

	[令和 4年 4月 7日現在]
1. 期首	令和 3年10月 8日

	[令和 4年 4月 7日現在]
期首元本額	4,734,109,848円
期中追加設定元本額	249,164,528円
期中一部解約元本額	926,586,649円
元本の内訳	
オーストラリア好利回り３資産バランス（年２回決算型）	2,714,709,860円
オーストラリア好利回り３資産バランス＜為替ヘッジあり＞（年２回決算型）	20,902,464円
三菱ＵＦＪ／マッコーリー オーストラリア・ハイインカム債券ファンド（毎月決算型）	1,321,075,403円
合計	4,056,687,727円
２．受益権の総数	4,056,687,727口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

１ 金融商品の状況に関する事項

区分	自 令和 3年10月 8日 至 令和 4年 4月 7日
１．金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」（昭和26年法律第198号）第２条第４項に定める証券投資信託であり、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。
２．金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドは、公社債等に投資しております。当該投資対象は、価格変動リスク、為替リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクに晒されております。 当ファンドは、運用の効率化を図るために、債券先物取引を利用しております。当該デリバティブ取引は、価格変動リスク等の市場リスクおよび信用リスク等を有しております。 当ファンドは、外貨の決済のために為替予約取引を利用しております。当該デリバティブ取引は、為替相場の変動による市場リスクおよび信用リスク等を有しておりますが、ごく短期間で実際に外貨の受渡を伴うことから、為替相場の変動によるリスクは限定的であります。 また、デリバティブ取引の時価等に関する事項についての契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額または計算上の想定元本であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。
３．金融商品に係るリスク管理体制	ファンドのコンセプトに応じて、適切にコントロールするため、委託会社では、運用部門において、ファンドに含まれる各種投資リスクを常時把握しつつ、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲で運用を行っております。 また、運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っており、この結果は運用管理委員会等を通じて運用部門にフィードバックされます。 当ファンドは、ファンドの運用の指図に関する権限を再委託しております。この場合、再委託先で投資リスクに対する管理体制を構築しているほか、当該再委託先のリスクの管理体制や管理状況の確認を委託会社で行っております。

２ 金融商品の時価等に関する事項

区分	[令和 4年 4月 7日現在]
1.貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。
2.時価の算定方法	(1) 有価証券 売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 (2) デリバティブ取引 デリバティブ取引は、（デリバティブ取引に関する注記）に記載しております。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。
3.金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

（有価証券に関する注記）

売買目的有価証券

種類	[令和 4年 4月 7日現在]
	当期間の損益に含まれた評価差額（円）
特殊債券	16,787,932
社債券	389,051,080
合計	405,839,012

(注)当期間の開始日は、当該親投資信託の期首日であります。

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

債券関連

[令和 4年 4月 7日現在]

区分	種類	契約額等（円）		時価（円）	評価損益（円）
			うち1年超		
市場取引	債券先物取引				
	買建	1,248,254,963	—	1,199,287,171	48,967,792
	売建	1,219,053,820	—	1,200,821,669	18,232,151
合計		2,467,308,783	—	2,400,108,840	30,735,641

（注）時価の算定方法

- 先物取引の時価については、以下のように評価しております。
原則として、直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または終値で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、最も近い終値や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。
- 先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。

3 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。

上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありません。

通貨関連

[令和 4年 4月 7日現在]

区分	種類	契約額等（円）		時価（円）	評価損益（円）
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引				
	買建				
	オーストラリアドル	434,983,840	—	472,843,146	37,859,306
	売建				
	アメリカドル	434,983,840	—	454,198,075	19,214,235
	オーストラリアドル	31,860,822	—	31,557,950	302,872
合計		901,828,502	—	958,599,171	18,947,943

（注）時価の算定方法

- 1 対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

為替予約の受渡日（以下「当該日」といいます。）の対顧客先物相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は、当該対顧客先物相場の仲値で評価しております。

当該日の対顧客先物相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- （イ）当該日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。
- （ロ）当該日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物相場の仲値を用いております。

- 2 対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありません。

（関連当事者との取引に関する注記）

該当事項はありません。

（1口当たり情報）

	[令和 4年 4月 7日現在]
1口当たり純資産額	1.5646円
(1万口当たり純資産額)	(15,646円)

附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

(2)株式以外の有価証券

（単位：円）

通貨	種 類	銘 柄	券面総額	評価額	備考
アメリカドル	社債券	3.65 WOODSIDE FI 250305	925,000.00	923,720.25	
		4.2 APT PIPELIN 250323	400,000.00	405,205.28	
		4.375 SCENTRE GRO 300528	90,000.00	92,528.54	
		4.5 TRANSURBAN QL 280419	200,000.00	206,587.00	
		4.75 PACIFIC NATI 280322	600,000.00	591,990.00	
		4.875 MACQUARIE B 250610	650,000.00	664,833.49	
		FRN SCENTRE GRO 800924	1,000,000.00	972,260.00	
アメリカドル合計			3,865,000.00	3,857,124.56 (476,972,023)	
オーストラリアドル	特殊債券	1 NBN CO LTD 251203	1,500,000.00	1,355,548.12	
		2.2 AIRSERV AUST 300515	500,000.00	449,027.12	
	特殊債券 小計		2,000,000.00	1,804,575.24 (167,500,673)	
	社債券	1.814 AUSGRID FIN 270205	1,300,000.00	1,154,892.88	
		1.9 DWPF FINANCE 280804	700,000.00	600,311.78	
		2.119 AGI FINANCE 270624	2,400,000.00	2,148,377.04	
		2.25 MACQUARIE UN 300522	500,000.00	439,237.79	
		2.4 COMMONWEALT 270114	500,000.00	469,720.63	
		2.4 VER FINCO PTY 280921	500,000.00	440,916.86	
		2.45 SHOPPING CT 290924	900,000.00	767,665.98	
		2.5 SUNCORP-MET 270125	1,600,000.00	1,495,275.72	
		2.525 GPT WHL OFF 260112	1,000,000.00	956,846.92	
		2.6 AUSNET SERV 290731	500,000.00	432,206.65	
		2.6 MIRVAC GROUP 290918	500,000.00	440,930.02	
		2.656 CHARTER HAL 291217	600,000.00	519,630.05	
		2.7 WESTPAC BAN 250317	700,000.00	685,575.25	
		2.7 WSO FINANCE P 300628	500,000.00	435,971.47	
		2.849 GPT WHL OFF 320220	1,000,000.00	851,053.58	
		2.85 LLITST FINAN 300628	600,000.00	515,428.82	
		2.9 AURIZON NETWO 300902	500,000.00	416,510.90	
		3 AURIZON FINANCE 280309	1,000,000.00	884,741.87	
		3 EDITH COWAN UNI 290411	450,000.00	419,493.65	
		3.1 AUST & NZ B 240208	500,000.00	502,334.60	
		3.147 COMPUTERSHA 271130	500,000.00	469,868.08	
		3.15 QANTAS AIRWA 280927	500,000.00	440,462.95	
		3.15 WESTCONNEX F 310331	1,100,000.00	941,833.29	
		3.2 COMMONWEALT 230816	1,700,000.00	1,721,205.12	

3.25 TRANSURBAN Q 310805	500,000.00	428,981.28	
3.6725 GPT WHL OF 240919	600,000.00	605,786.52	
3.7 AUSTRALIAN CA 270803	500,000.00	489,563.98	
3.7 DOWNER GROUP 260429	500,000.00	493,128.07	
3.75 AUSTRALIAN P 240522	500,000.00	493,914.08	
3.75 TRANSURBAN Q 231012	500,000.00	506,116.40	
3.85 UNITED ENERG 241023	1,100,000.00	1,114,645.51	
3.9 BRISBANE AIRP 250424	1,250,000.00	1,236,212.80	
4 AURIZON NETWORK 240621	1,000,000.00	1,008,247.50	
4 CALTEX AUSTRALI 250417	1,300,000.00	1,309,108.06	
4.2 AUSNET SERV 280821	500,000.00	491,344.71	
4.225 DBNGP FINAN 250528	1,000,000.00	1,008,486.00	
4.3 INCITEC PIVOT 260318	1,000,000.00	995,588.13	
4.5 BRISBANE AIRP 301230	500,000.00	480,030.14	
4.5 WSO FINANCE P 270331	1,200,000.00	1,223,603.64	
4.75 QANTAS AIRWA 261012	500,000.00	498,426.88	
5.25 PACIFIC NATI 250519	1,000,000.00	1,018,602.70	
5.25 QANTAS AIRWA 300909	500,000.00	482,624.85	
7.75 QANTAS AIRWA 220519	500,000.00	503,650.15	
FRN AMPOL LTD 801209	600,000.00	607,364.34	
FRN AMPOL LTD 811202	900,000.00	898,904.16	
FRN AUSNET SERV 801006	1,200,000.00	1,198,396.42	
FRN AUST & NZ B 290726	500,000.00	508,135.55	
FRN AUST & NZ B 310226	1,700,000.00	1,708,156.26	
FRN BANK OF QUEEN 260506	500,000.00	491,471.36	
FRN BANK OF QUEEN 261027	1,500,000.00	1,477,549.57	
FRN BANK OF QUEEN 320519	500,000.00	491,337.31	
FRN BENDIGO AND 301119	500,000.00	502,591.95	
FRN COMMONWEALT 300910	2,000,000.00	2,015,986.60	
FRN COMMONWEALT 310820	600,000.00	590,152.23	
FRN CROWN LTD PLA 700423	287,000.00	277,121.46	
FRN MACQUARIE B 300528	1,200,000.00	1,240,865.04	
FRN MACQUARIE B 310617	600,000.00	589,762.81	
FRN NATIONAL A 290517	2,000,000.00	2,035,149.40	
FRN NATIONAL A 301118	1,600,000.00	1,603,299.20	
FRN NATIONAL A 311118	550,000.00	516,819.33	
FRN SUNCORP-MET 281205	1,600,000.00	1,625,270.08	
FRN SUNCORP-MET 421006	1,000,000.00	1,009,907.10	
FRN WESTPAC BAN 280614	1,900,000.00	1,939,188.26	
FRN WESTPAC BAN 290816	1,800,000.00	1,816,233.12	
FRN WESTPAC BAN 290827	900,000.00	914,823.63	
VAR AUST & NZ B 270513	1,000,000.00	1,003,861.80	

	社債券 小計	59,437,000.00	57,600,900.28 (5,346,515,563)	
オーストラリアドル合計		61,437,000.00	59,405,475.52 (5,514,016,236)	
合計			5,990,988,259 (5,990,988,259)	

(注1)通貨の種類ごとの小計／合計欄の()内は、邦貨換算額であります。

(注2)合計金額欄の()内は、外貨建有価証券に係るもので、内書であります。

外貨建有価証券の内訳

種類	銘柄数		組入債券 時価比率	有価証券の 合計金額に 対する比率
アメリカドル	社債券	7銘柄	100.00%	7.96%
オーストラリアドル	特殊債券	2銘柄	3.04%	2.80%
	社債券	66銘柄	96.96%	89.24%

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

（デリバティブ取引に関する注記）に記載しております。

2【ファンドの現況】

【三菱ＵＦＪ／マッコーリー オーストラリア・ハイインカム債券ファンド（毎月決算型）】

【純資産額計算書】

令和 4年 4月28日現在

（単位：円）

資産総額	2,004,073,991
負債総額	8,962,014
純資産総額（ - ）	1,995,111,977
発行済口数	2,688,784,529口
1口当たり純資産価額（ / ）	0.7420
（10,000口当たり）	（7,420）

（参考）

マッコーリー オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド

純資産額計算書

令和 4年 4月28日現在

（単位：円）

資産総額	6,092,115,102
負債総額	70,504,472
純資産総額（ - ）	6,021,610,630
発行済口数	3,921,328,576口
1口当たり純資産価額（ / ）	1.5356
（10,000口当たり）	（15,356）

第三部【委託会社等の情報】

第１【委託会社等の概況】

１【委託会社等の概況】

< 更新後 >

（１）資本金の額等

2022年4月末現在、資本金は2,000百万円です。なお、発行可能株式総数は400,000株であり、211,581株を発行済です。最近５年間に於ける資本金の額の増減はありません。

（２）委託会社の機構

・会社の意思決定機構

業務執行の基本方針を決定し、取締役の職務の執行を監督する機関として、取締役会を設置します。取締役の選任は、総株主の議決権の３分の１以上を有する株主が出席する株主総会にてその議決権の過半数をもって行い、累積投票によらないものとします。また、取締役会で決定した基本方針に基づき、経営管理全般に関する執行方針その他重要な事項を協議・決定する機関として、経営会議を設置します。

・投資運用の意思決定機構

投資環境見通しの策定

投資環境会議において、国内外の経済・金融情報および各国証券市場等の調査・分析に基づいた投資環境見通しを策定します。

運用戦略の決定

運用戦略委員会において、で策定された投資環境見通しに沿って運用戦略を決定します。

運用計画の決定

で決定された運用戦略に基づいて、各運用部はファンド毎の運用計画を決定します。

ポートフォリオの構築

各運用部の担当ファンドマネジャーは、運用部から独立したトレーディング部に売買実行の指示をします。トレーディング部は、事前のチェックを行ったうえで、最良執行をめざして売買の執行を行います。

投資行動のモニタリング１

運用部門は、投資行動がファンドコンセプトおよびファンド毎に定めた運用計画に沿っているかどうかの自律的なチェックを行い、逸脱がある場合は速やかな是正を指示します。

投資行動のモニタリング２

運用部から独立した管理担当部署は、運用に関するパフォーマンス測定、リスク管理および法令・信託約款などの遵守状況等のモニタリングを実施します。この結果は、運用管理委員会等を通じて運用部門にフィードバックされ、必要に応じて是正を指示します。

ファンドに係る法人等の管理

受託会社等、ファンドの運営に係る法人については、その業務に関する委託会社の管理担当部署が、体制、業務執行能力、信用力等のモニタリング・評価を実施します。この結果は、リスク管理委員会等を通じて委託会社の経営陣に報告され、必要に応じて是正が指示されます。

運用・管理に関する監督

内部監査担当部署は、運用、管理等に関する委託会社の業務全般についてその健全性・適切性を担保するために、リスク管理、内部統制、ガバナンス・プロセスの適切性・有効性を検証・評価します。その評価結果は問題点の改善方法の提言等も含めて委託会社の経営陣に報告される、内部監査態勢が構築されています。

ファンドの運用体制等は、今後変更される可能性があります。

2【事業の内容及び営業の概況】

< 更新後 >

「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託会社は、証券投資信託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）等を行っています。また「金融商品取引法」に定める第二種金融商品取引業および投資助言業務を行っています。

2022年 4月28日現在における委託会社の運用する証券投資信託は以下の通りです。（親投資信託を除きます。）

商品分類	本 数 (本)	純資産総額 (百万円)
追加型株式投資信託	899	19,337,203
追加型公社債投資信託	16	1,364,166
単位型株式投資信託	94	431,590
単位型公社債投資信託	52	175,261
合 計	1,061	21,308,221

なお、純資産総額の金額については、百万円未満の端数を四捨五入して記載しておりますので、表中の個々の数字の合計と合計欄の数字とは一致しないことがあります。

3【委託会社等の経理状況】

< 更新後 >

(1) 財務諸表の作成方法について

委託会社である三菱ＵＦＪ国際投信株式会社（以下「当社」という。）の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則（昭和38年大蔵省令第59号）」（以下「財務諸表等規則」という。）第2条の規定により、財務諸表等規則及び「金融商品取引業等に関する内閣府令（平成19年内閣府令第52号）」に基づき作成しております。

なお、財務諸表に掲載している金額については、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

(2) 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第37期事業年度（自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日）の財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる監査を受けております。

(1) 【貸借対照表】

(単位：千円)

第36期
(令和3年3月31日現在)

第37期
(令和4年3月31日現在)

(資産の部)

流動資産

現金及び預金	2	56,803,388	2	51,593,362
有価証券		2,001		293,326
前払費用		598,135		645,109
未収入金		31,359		61,092
未収委託者報酬		13,216,357		15,750,264
未収収益	2	662,230	2	783,790
金銭の信託		2,300,000		8,401,300
その他		269,506		295,584
流動資産合計		73,882,978		77,823,830

固定資産

有形固定資産

建物	1	548,902	1	391,042
器具備品	1	1,435,369	1	1,079,023
土地		628,433		628,433
有形固定資産合計		2,612,705		2,098,499

無形固定資産

電話加入権		15,822		15,822
ソフトウェア		3,569,171		4,381,293
ソフトウェア仮勘定		1,895,190		1,581,652
無形固定資産合計		5,480,184		5,978,768

投資その他の資産

投資有価証券		18,616,670		16,803,642
関係会社株式		320,136		159,536
投資不動産	1	814,684	1	810,684
長期差入保証金		538,497		524,244
前払年金費用		258,835		189,708
繰延税金資産		916,962		982,406
その他		45,230		45,230
貸倒引当金		23,600		23,600
投資その他の資産合計		21,487,417		19,491,852

固定資産合計

29,580,307 27,569,120

資産合計

103,463,286 105,392,950

(単位：千円)

第36期
(令和3年3月31日現在)第37期
(令和4年3月31日現在)

(負債の部)

流動負債

預り金		533,622		565,222
未払金				
未払収益分配金		158,856		197,334
未払償還金		133,877		7,418
未払手数料	2	5,200,810	2	6,423,139
その他未払金	2	4,412,521	2	4,565,457

未払費用	2	4,755,909	2	4,328,968
未払消費税等		752,617		1,112,923
未払法人税等		873,027		769,692
賞与引当金		933,381		942,287
役員賞与引当金		160,710		149,028
その他		691,143		5,517
流動負債合計		18,606,476		19,066,990
固定負債				
長期未払金		21,600		10,800
退職給付引当金		1,145,514		1,246,300
役員退職慰労引当金		117,938		117,938
時効後支払損引当金		245,426		250,214
固定負債合計		1,530,479		1,625,252
負債合計		20,136,956		20,692,243
(純資産の部)				
株主資本				
資本金		2,000,131		2,000,131
資本剰余金				
資本準備金		3,572,096		3,572,096
その他資本剰余金		41,160,616		41,160,616
資本剰余金合計		44,732,712		44,732,712
利益剰余金				
利益準備金		342,589		342,589
その他利益剰余金				
別途積立金		6,998,000		6,998,000
繰越利益剰余金		26,951,289		29,000,498
利益剰余金合計		34,291,879		36,341,088
株主資本合計		81,024,723		83,073,932

(単位：千円)

	第36期 (令和3年3月31日現在)	第37期 (令和4年3月31日現在)
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,301,606	1,626,775
評価・換算差額等合計	2,301,606	1,626,775
純資産合計	83,326,329	84,700,707
負債純資産合計	103,463,286	105,392,950

(2) 【損益計算書】

(単位：千円)

	第36期 (自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)	第37期 (自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)
--	-------------------------------------	-------------------------------------

営業収益				
委託者報酬		67,963,712		79,977,953
投資顧問料		2,443,980		2,711,169
その他営業収益		21,613		13,459
営業収益合計		70,429,306		82,702,582
営業費用				
支払手数料	2	26,689,896	2	31,644,834
広告宣伝費		668,150		720,785
公告費		250		500
調査費				
調査費		2,077,942		2,430,158
委託調査費		12,035,954		14,557,009
事務委託費		798,528		1,450,062
営業雑経費				
通信費		296,490		138,868
印刷費		378,180		379,428
協会費		51,841		49,590
諸会費		16,613		17,729
事務機器関連費		1,977,769		2,172,978
その他営業雑経費		8,391		649
営業費用合計		45,000,009		53,562,596
一般管理費				
給料				
役員報酬		352,879		414,260
給料・手当		6,461,546		6,496,233
賞与引当金繰入		933,381		942,287
役員賞与引当金繰入		160,710		149,028
福利厚生費		1,272,568		1,282,310
交際費		2,721		4,874
旅費交通費		22,768		21,698
租税公課		402,939		430,233
不動産賃借料		666,331		724,961
退職給付費用		481,135		494,615
役員退職慰労引当金繰入		11,763		-
固定資産減価償却費		1,358,911		2,249,287
諸経費		413,538		379,054
一般管理費合計		12,541,193		13,588,846
営業利益		12,888,103		15,551,139

(単位：千円)

	第36期 (自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)	第37期 (自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)
営業外収益		
受取配当金	170,807	243,133
受取利息	2 2,726	2 7,408
投資有価証券償還益	81,557	1,089,101
収益分配金等時効完成分	275,835	137,485
受取賃貸料	2 65,808	2 65,808

その他	12,504	36,211
営業外収益合計	609,239	1,579,148
営業外費用		
投資有価証券償還損	95,946	3,074
時効後支払損引当金繰入	16,395	16,548
事務過誤費	-	76,076
賃貸関連費用	13,472	15,780
その他	2,932	7,585
営業外費用合計	128,747	119,066
経常利益	13,368,595	17,011,221
特別利益		
投資有価証券売却益	2,007,655	605,706
特別利益合計	2,007,655	605,706
特別損失		
投資有価証券売却損	51,737	28,188
投資有価証券評価損	26,317	36,558
固定資産除却損	1 536	1 13,094
特別損失合計	78,591	77,840
税引前当期純利益	15,297,659	17,539,087
法人税、住民税及び事業税	2 4,755,427	2 5,366,608
法人税等調整額	19,122	22,446
法人税等合計	4,736,304	5,389,054
当期純利益	10,561,354	12,150,032

（３）【株主資本等変動計算書】

第36期（自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				株主資本合計
		資本 準備金	その他 資本剰余金	資本 剰余金合計	利益 準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計	
						別途 積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712	342,589	6,998,000	25,847,605	33,188,194	79,921,039
当期変動額									
剰余金の配当							9,457,670	9,457,670	9,457,670
当期純利益							10,561,354	10,561,354	10,561,354
株主資本以外の 項目の当期変動額 (純額)									
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	1,103,684	1,103,684	1,103,684
当期末残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712	342,589	6,998,000	26,951,289	34,291,879	81,024,723

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	1,815	1,815	79,922,854
当期変動額			
剰余金の配当			9,457,670
当期純利益			10,561,354
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	2,299,791	2,299,791	2,299,791

当期変動額合計	2,299,791	2,299,791	3,403,475
当期末残高	2,301,606	2,301,606	83,326,329

第37期（自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			株主資本合計	
		資本 準備金	その他 資本剰余金	資本 剰余金合計	利益 準備金	その他利益剰余金			利益剰余金 合計
						別途 積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712	342,589	6,998,000	26,951,289	34,291,879	81,024,723
会計方針の変更による累積の影響額							475,687	475,687	475,687
会計方針の変更を反映した当期首残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712	342,589	6,998,000	27,426,976	34,767,566	81,500,410
当期変動額									
剰余金の配当							10,576,511	10,576,511	10,576,511
当期純利益							12,150,032	12,150,032	12,150,032
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	1,573,521	1,573,521	1,573,521
当期末残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712	342,589	6,998,000	29,000,498	36,341,088	83,073,932

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	2,301,606	2,301,606	83,326,329
会計方針の変更による累積的影響額			475,687
会計方針の変更を反映した当期首残高	2,301,606	2,301,606	83,802,017
当期変動額			
剰余金の配当			10,576,511
当期純利益			12,150,032
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	674,831	674,831	674,831
当期変動額合計	674,831	674,831	898,690
当期末残高	1,626,775	1,626,775	84,700,707

[注記事項]

（重要な会計方針）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

(1) 子会社株式及び関連会社株式

移動平均法による原価法を採用しております。

(2) その他有価証券

市場価格のない株式等以外のもの

時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）を採用しております。

市場価格のない株式等

移動平均法による原価法を採用しております。

2. 金銭の信託の評価基準及び評価方法

時価法を採用しております。

3. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産及び投資不動産

定率法を採用しております。ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用し

ております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物	5年～50年
器具備品	2年～20年
投資不動産	3年～47年

(2)無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。

4. 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

5. 引当金の計上基準

(1)貸倒引当金

貸付金等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

(2)賞与引当金

従業員賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

(3)役員賞与引当金

役員賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

(4)退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。

退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法

過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により費用処理することとしております。

数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（主として10年）による定額法により、発生した事業年度の翌期から費用処理することとしております。

(5)役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

(6)時効後支払損引当金

時効成立のため利益計上した収益分配金及び償還金について、受益者からの今後の支払請求に備えるため、過去の支払実績に基づく将来の支払見込額を計上しております。

6. 収益及び費用の計上基準

当社の顧客との契約から生じる収益に関する主要な事業における主要な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点（収益を認識する通常の時点）は以下のとおりであります。

(1)委託者報酬

投資信託の信託約款に基づき信託財産の運用指図等を行っております。委託者報酬は、純資産総額に一定の報酬率を乗じて日々計算され、確定した報酬を投資信託によって主に年2回受領しております。当該報酬は投資信託の運用期間にわたり収益として認識しております。

(2)投資顧問料

顧客との投資一任及び投資助言契約に基づき運用及び助言を行っております。投資顧問料は、純資産総額に一定の報酬率を乗じて計算され、確定した報酬を主に年4回受領しております。当該報酬は契約期間にわたり収益として認識しております。

7. その他財務諸表作成のための基礎となる事項

(1)連結納税制度の適用

連結納税制度を適用しております。

(2)「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」の適用

令和2年度税制改正において従来の連結納税制度が見直され、グループ通算制度に移行する税制改正法（「所得税法等の一部を改正する法律」（令和2年法律第8号））が令和2年3月31日に公布されておりますが、繰延税金資産の額について、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る

税効果会計の適用に関する取扱い」（実務対応報告第39号 令和2年3月31日）により「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 平成30年2月16日）第44項の定めを適用せず、改正前の税法の規定に基づいて算定しております。

なお、翌事業年度の期首から、グループ通算制度を適用する場合における法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示の取り扱いを定めた「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第42号 令和3年8月12日）を適用する予定であります。

（会計方針の変更）

（1）収益認識に関する会計基準等の適用

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 令和2年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を当事業年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当事業年度の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当事業年度の期首の繰越利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、収益認識会計基準等の適用を行う前と比べて、当事業年度の貸借対照表は、流動負債のその他は484,886千円減少、繰延税金資産は148,472千円減少、繰越利益剰余金は336,414千円増加しております。

当事業年度の損益計算書は、委託者報酬、営業利益、経常利益及び税引前当期純利益はそれぞれ200,739千円減少しております。

当事業年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、株主資本等変動計算書の繰越利益剰余金の期首残高は475,687千円増加しております。

1株当たり情報に与える影響は当該箇所に記載しております。

（2）時価の算定に関する会計基準等の適用

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 令和元年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を当事業年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 令和元年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、時価算定会計基準等の適用による、財務諸表への影響はありません。また、「金融商品関係」注記において、金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項等の注記を行うことといたしました。

（未適用の会計基準等）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 令和3年6月17日）

（1）概要

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 企業会計基準適用指針第31号）の令和3年6月17日の改正は、令和元年7月4日の公表時において、「投資信託の時価の算定」に関する検討には、関係者との協議等に一定の期間が必要と考えられるため、また、「貸借対照表に持分相当額を純額で計上する組合等への出資」の時価の注記についても、一定の検討を要するため、「時価の算定に関する会計基準」公表後、概ね1年をかけて検討を行うこととされていたものが、改正され、公表されたものです。

（2）適用予定日

令和5年3月期の期首より適用します。

（3）当該会計基準等の適用による影響

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」の適用による財務諸表に与える影響額については、現時点で評価中であります。

（貸借対照表関係）

1. 有形固定資産及び投資不動産の減価償却累計額

	第36期 (令和3年3月31日現在)	第37期 (令和4年3月31日現在)
建物	643,920千円	805,250千円
器具備品	1,545,179千円	2,054,366千円

投資不動産

151,833千円

157,995千円

2. 関係会社に対する主な資産・負債

区分掲記した以外で各科目に含まれるものは次の通りであります。

	第36期 (令和3年3月31日現在)	第37期 (令和4年3月31日現在)
預金	40,328,414千円	43,782,913千円
未収収益	14,138千円	13,741千円
未払手数料	772,495千円	836,105千円
その他未払金	3,425,136千円	3,887,520千円
未払費用	349,222千円	337,847千円

(損益計算書関係)

1. 固定資産除却損の内訳

	第36期 (自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)	第37期 (自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)
建物	-	2,599千円
器具備品	536千円	10,495千円
計	536千円	13,094千円

2. 関係会社に対する主な取引

区分掲記した以外で各科目に含まれるものは次の通りであります。

	第36期 (自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)	第37期 (自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)
支払手数料	5,128,270千円	5,153,589千円
受取利息	143千円	7,377千円
受取賃貸料	65,808千円	65,808千円
法人税、住民税及び事業税	3,492,898千円	4,062,765千円

(株主資本等変動計算書関係)

第36期（自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日）

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

	当事業年度期首 株式数 (株)	当事業年度増加 株式数 (株)	当事業年度減少 株式数 (株)	当事業年度末 株式数 (株)
発行済株式				
普通株式	211,581	-	-	211,581
合計	211,581	-	-	211,581

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

令和2年6月26日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

配当金の総額	9,457,670千円
1株当たり配当額	44,700円
基準日	令和2年3月31日
効力発生日	令和2年6月29日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

令和3年6月28日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

配当金の総額	10,576,511千円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	49,988円
基準日	令和3年3月31日

効力発生日

令和3年6月29日

第37期（自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日）

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

	当事業年度期首 株式数（株）	当事業年度増加 株式数（株）	当事業年度減少 株式数（株）	当事業年度末 株式数（株）
発行済株式				
普通株式	211,581	-	-	211,581
合計	211,581	-	-	211,581

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

令和3年6月28日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

配当金の総額	10,576,511千円
1株当たり配当額	49,988円
基準日	令和3年3月31日
効力発生日	令和3年6月29日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

令和4年6月28日開催の定時株主総会の議案として、普通株式の配当に関する事項を次のとおり提案しております。

配当金の総額	6,075,125千円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	28,713円
基準日	令和4年3月31日
効力発生日	令和4年6月29日

(リース取引関係)

借主側

オペレーティング・リース取引

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料

	第36期 (令和3年3月31日現在)	第37期 (令和4年3月31日現在)
1年内	709,808千円	709,808千円
1年超	709,808千円	414,054千円
合計	1,419,616千円	1,123,863千円

(金融商品関係)

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

資金運用については銀行預金、金銭の信託（合同運用指定金銭信託）で運用し、金融機関からの資金調達は行っておりません。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は主として投資信託であり、価格変動リスクに晒されております。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

内部管理規程に従って月次でリスク資本を認識し、経営会議に報告しております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、市場価格のない株式等は、次表には含まれておりません（（注2）参照）。

第36期(令和3年3月31日現在)

	貸借対照表 計上額（千円）	時価（千円）	差額（千円）
(1) 有価証券	2,001	2,001	-
(2) 金銭の信託	2,300,000	2,300,000	-

(3) 投資有価証券	18,585,310	18,585,310	-
資産計	20,887,311	20,887,311	-

(注1) 「現金及び預金」、「未収委託者報酬」、「未払手数料」については短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

(注2) 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

非上場株式（前事業年度の貸借対照表計上額31,360千円）は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(3) 投資有価証券」には含めておりません。

また、子会社株式及び関連会社株式（前事業年度の貸借対照表計上額 子会社株式160,600千円 関連会社株式159,536千円）は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、記載しておりません。

(注3) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することもあります。

(注4) 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

第36期(令和3年3月31日現在)

(単位：千円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金及び預金	56,803,388	-	-	-
金銭の信託	2,300,000	-	-	-
未収委託者報酬	13,216,357	-	-	-
有価証券及び投資有価証券				
その他有価証券のうち満期があるもの				
投資信託	2,001	8,412,286	3,123,026	11,398
合計	72,321,747	8,412,286	3,123,026	11,398

第37期(令和4年3月31日現在)

	貸借対照表 計上額（千円）	時価（千円）	差額（千円）
(1) 有価証券	293,326	293,326	-
(2) 金銭の信託	8,401,300	8,401,300	-
(3) 投資有価証券	16,772,282	16,772,282	-
資産計	25,466,909	25,466,909	-

(注1) 「現金及び預金」、「未収委託者報酬」、「未払手数料」については短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

(注2) 市場価格のない株式等

非上場株式（当事業年度の貸借対照表計上額31,360千円）は、市場価格がないため、「(3) 投資有価証券」には含めておりません。

また、関連会社株式（当事業年度の貸借対照表計上額 関連会社株式159,536千円）は、市場価格がないため、記載しておりません。

(注3) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することもあります。

(注4) 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

第37期(令和4年3月31日現在)

(単位：千円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金及び預金	51,593,362	-	-	-
金銭の信託	8,401,300	-	-	-
未収委託者報酬	15,750,264	-	-	-
有価証券及び投資有価証券				
その他有価証券のうち満期があるもの				
投資信託	293,326	6,911,464	3,695,585	-
合計	76,038,253	6,911,464	3,695,585	-

3. 金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

金融商品の時価を、時価の算定に係るインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、活発な市場において形成される当該時価の算定の対象となる資産又は負債に関する相場価格により算定した時価

レベル2の時価：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、レベル1のインプット以外の時価の算定に係るインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価：観察できない時価の算定に係るインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

なお、財務諸表等規則附則（令和3年9月24日内閣府令第9号）に基づく経過措置を適用した投資信託（貸借対照表計上額 有価証券 293,326千円、投資有価証券16,772,282千円）は、次表には含めておりません。

時価をもって貸借対照表計上額とする金融資産及び金融負債

区分	時価（千円）			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
金銭の信託	-	8,401,300	-	8,401,300
資産計	-	8,401,300	-	8,401,300

（注）時価の算定に用いた評価技法及び時価の算定に係るインプットの説明

金銭の信託

取引先金融機関から提示された価格等に基づき算定しており、レベル2の時価に分類しております。

（有価証券関係）

1. 子会社株式及び関連会社株式

前事業年度の子会社株式及び関連会社株式（貸借対照表計上額は子会社株式160,600千円、関連会社株式159,536千円）は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、記載していません。

また、当事業年度の関連会社株式（貸借対照表計上額は関連会社株式159,536千円）は、市場価格がないため、記載していません。

2. その他有価証券

第36期(令和3年3月31日現在)

	種類	貸借対照表計上額 (千円)	取得原価 (千円)	差額（千円）
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	-	-	-
	債券	-	-	-
	その他	14,810,957	11,362,471	3,448,485
	小計	14,810,957	11,362,471	3,448,485
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	-	-	-
	債券	-	-	-
	その他	6,076,354	6,207,447	131,093
	小計	6,076,354	6,207,447	131,093
合計		20,887,311	17,569,919	3,317,392

（注）「その他」には、貸借対照表の「金銭の信託」（貸借対照表計上額は2,300,000千円、取得原価は2,300,000千円）を含めております。

非上場株式（貸借対照表計上額は31,360千円）は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、含めておりません。

第37期(令和4年3月31日現在)

	種類	貸借対照表計上額 (千円)	取得原価 (千円)	差額(千円)
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	-	-	-
	債券	-	-	-
	その他	19,193,250	16,560,340	2,632,910
	小計	19,193,250	16,560,340	2,632,910
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	-	-	-
	債券	-	-	-
	その他	6,273,658	6,561,836	288,177
	小計	6,273,658	6,561,836	288,177
合計		25,466,909	23,122,176	2,344,732

(注)「その他」には、貸借対照表の「金銭の信託」(貸借対照表計上額は8,401,300千円、取得原価は8,400,000千円)を含めております。

非上場株式(貸借対照表計上額は31,360千円)は、市場価格がないため、含めておりません。

3.売却したその他有価証券

第36期(自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)

種類	売却額(千円)	売却益の合計額(千円)	売却損の合計額(千円)
株式	-	-	-
債券	-	-	-
その他	5,747,529	2,007,655	51,737
合計	5,747,529	2,007,655	51,737

第37期(自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)

種類	売却額(千円)	売却益の合計額(千円)	売却損の合計額(千円)
株式	-	-	-
債券	-	-	-
その他	4,164,921	605,706	28,188
合計	4,164,921	605,706	28,188

4.減損処理を行った有価証券

前事業年度において、有価証券について26,317千円(その他有価証券のその他26,317千円)減損処理を行っております。

当事業年度において、有価証券について36,558千円(その他有価証券のその他36,558千円)減損処理を行っております。

なお、減損処理にあたっては、期末における時価が取得原価に比べ50%以上下落した場合、及び30%以上50%未満下落し、回復可能性等の合理的反証がない場合に行っております。

(退職給付関係)

1.採用している退職給付制度の概要

当社は、確定給付型の制度として、確定給付企業年金制度(積立型制度)及び退職一時金制度(非積立型制度)を設けております。また確定拠出型の制度として、確定拠出年金制度を設けております。

2.確定給付制度

(1)退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

	第36期 (自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)	第37期 (自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)
退職給付債務の期首残高	3,718,736 千円	3,729,235 千円
勤務費用	203,106	198,457
利息費用	19,110	21,549
数理計算上の差異の 発生額	18,826	46,069

退職給付の支払額	192,890	179,650
過去勤務費用の発生額	-	-
退職給付債務の期末残高	3,729,235	3,723,521

(2)年金資産の期首残高と期末残高の調整表

	第36期 (自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)	第37期 (自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)
年金資産の期首残高	2,460,824 千円	2,649,846 千円
期待運用収益	44,130	47,588
数理計算上の差異の発生額	304,281	1,824
事業主からの拠出額	-	-
退職給付の支払額	159,390	115,331
年金資産の期末残高	2,649,846	2,583,927

(3)退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金及び前払年金費用の調整表

	第36期 (令和3年3月31日現在)	第37期 (令和4年3月31日現在)
積立型制度の退職給付債務	2,810,893 千円	2,675,015 千円
年金資産	2,649,846	2,583,927
	161,046	91,087
非積立型制度の退職給付債務	918,342	1,048,506
未積立退職給付債務	1,079,388	1,139,593
未認識数理計算上の差異	161,333	205,679
未認識過去勤務費用	354,043	288,681
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	886,678	1,056,591
退職給付引当金	1,145,514	1,246,300
前払年金費用	258,835	189,708
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	886,678	1,056,591

(4)退職給付費用及びその内訳項目の金額

	第36期 (自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)	第37期 (自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)
勤務費用	203,106 千円	198,457 千円
利息費用	19,110	21,549
期待運用収益	44,130	47,588
数理計算上の差異の費用処理額	41,361	3,547
過去勤務費用の費用処理額	65,361	65,361
その他	44,446	109,013
確定給付制度に係る退職給付費用	329,255	343,245

(注)「その他」は受入出向者に係る出向元への退職給付費用負担額、再就職支援金及び退職金です。

(5)年金資産に関する事項
年金資産の主な内訳

年金資産合計に対する主な分類ごとの比率は、次のとおりであります。

	第36期 (令和3年3月31日現在)	第37期 (令和4年3月31日現在)
債券	62.7 %	62.0 %
株式	35.4	36.3
その他	1.9	1.7
合計	100	100

長期期待運用収益率の設定方法

年金資産の長期期待運用収益率を決定するため、現在及び予想される年金資産の配分と年金資産を構成する多様な資産からの現在及び将来期待される長期の収益率を考慮しております。

(6)数理計算上の計算基礎に関する事項

主要な数理計算上の計算基礎

	第36期 (令和3年3月31日現在)	第37期 (令和4年3月31日現在)
割引率	0.051～0.59%	0.078～0.72%
長期期待運用収益率	1.5～1.8%	1.5～1.8%

3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、前事業年度151,880千円、当事業年度151,370千円であります。

(税効果会計関係)

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

	第36期 (令和3年3月31日現在)	第37期 (令和4年3月31日現在)
繰延税金資産		
減損損失	418,394千円	410,082千円
投資有価証券評価損	188,859	65,490
未払事業税	180,263	165,702
賞与引当金	285,801	288,528
役員賞与引当金	25,472	25,799
役員退職慰労引当金	36,112	36,112
退職給付引当金	350,756	381,617
減価償却超過額	68,024	145,316
委託者報酬	209,938	-
長期差入保証金	48,639	52,869
時効後支払損引当金	75,149	76,615
連結納税適用による時価評価	38,873	35,311
その他	87,023	76,257
繰延税金資産 小計	2,013,308	1,759,702
評価性引当額	-	-
繰延税金資産 合計	2,013,308	1,759,702
繰延税金負債		
前払年金費用	79,225	58,088
連結納税適用による時価評価	1,203	1,149
その他有価証券評価差額金	1,015,785	717,957
その他	101	101
繰延税金負債 合計	1,096,346	777,296
繰延税金資産の純額	916,962	982,406

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳

第36期（令和3年3月31日現在）及び第37期（令和4年3月31日現在）

法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。

（収益認識関係）

1. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

収益及び契約から生じるキャッシュ・フローの性質、金額、時期及び不確実性に影響を及ぼす主要な要因に基づく区分に当該収益を分解した情報については、重要性が乏しいため記載を省略しております。

2. 顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報

収益を理解するための基礎となる情報は、「（重要な会計方針）の6. 収益および費用の計上基準」に記載のとおりであります。

3. 顧客との契約に基づく履行義務の充足と当該契約から生じるキャッシュ・フローとの関係並びに当事業年度末において存在する顧客との契約から翌事業年度以降に認識すると見込まれる収益の金額及び時期に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。

（セグメント情報等）

[セグメント情報]

第36期（自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日）及び第37期（自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日）

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[関連情報]

第36期（自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日）及び第37期（自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

（1）営業収益

投資信託の受益者の情報を制度上把握していないため、記載を省略しております。

（2）有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

投資信託の受益者の情報を制度上把握していないため、記載を省略しております。

[報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報]

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報]

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報]

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（関連当事者情報）

1. 関連当事者との取引

（1）財務諸表提出会社の親会社及び主要株主等

第36期（自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有 (被所有) 割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (注4)	科目	期末残高 (注4)
----	--------	-----	-----	-------	------------------------	---------------	-------	--------------	----	--------------

親会社	㈱三菱UFJ フィナンシャル・ グループ	東京都 千代田 区	2,141,513 百万円	銀行持株 会社業	被所有 間接 100.0%	連結納税	連結納税に 伴う支払 （注1）	3,492,898 千円	その他未払金	3,425,136 千円
親会社	三菱UFJ 信託銀行㈱	東京都 千代田 区	324,279 百万円	信託業、 銀行業	被所有 直接 100.0%	当社投資信託の 募集の取扱及び 投資信託に係る 事務代行の委託 等 投資の助言 役員の兼任	投資信託に 係る事務代 行手数料の 支払 （注2） 投資助言料 （注3）	5,128,270 千円 523,327 千円	未払手数料 未払費用	772,495 千円 290,120 千円

第37期（自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日）

種類	会社等の 名称	所在地	資本金	事業の 内容	議決権等 の所有 (被所有) 割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (注4)	科目	期末残高 (注4)
親会社	㈱三菱UFJ フィナンシャル・ グループ	東京都 千代田 区	2,141,513 百万円	銀行持株 会社業	被所有 間接 100.0%	連結納税	連結納税に 伴う支払 （注1）	4,062,765 千円	その他未払金	3,887,520 千円
親会社	三菱UFJ 信託銀行㈱	東京都 千代田 区	324,279 百万円	信託業、 銀行業	被所有 直接 100.0%	当社投資信託の 募集の取扱及び 投資信託に係る 事務代行の委託 等 投資の助言 役員の兼任	投資信託に 係る事務代 行手数料の 支払 （注2） 投資助言料 （注3）	5,153,589 千円 499,388 千円	未払手数料 未払費用	836,105 千円 272,264 千円

取引条件及び取引条件の決定方針等

- （注）１．連結納税制度に基づく連結法人税の支払予定額であります。
- ２．投資信託に係る事務代行手数料については、商品毎に、過去の料率、市場実勢等を勘案して決定しております。
- ３．投資助言料については、市場実勢を勘案して決定しております。
- ４．上記金額のうち、取引金額は消費税等を含まず、期末残高は消費税等を含んで表示しております。

(2)財務諸表提出会社と同一の親会社をもつ会社等

第36期（自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日）

種類	会社等の 名称	所在地	資本金	事業の 内容	議決権等 の所有 (被所有) 割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (注2)	科目	期末残高 (注2)
同一の親会社を持つ会社	㈱三菱UFJ 銀行	東京都 千代田 区	1,711,958 百万円	銀行業	なし	当社投資信託の 募集の取扱及び 投資信託に係る 事務代行の委託 等	投資信託に 係る事務代 行手数料 の支払 （注1）	3,729,785 千円	未払手数料	764,501 千円

同一の親会社を持つ会社	三菱UFJ モルガン・ スタンレー 証券㈱	東京都 千代田 区	40,500 百万円	証券業	なし	当社投資信託の 募集の取扱及び 投資信託に係る 事務代行の委託 等	投資信託に 係る事務代 行手数料 の支払 (注1)	5,655,482 千円	未払手数料	1,193,245 千円
-------------	--------------------------------	-----------------	---------------	-----	----	---	---------------------------------------	-----------------	-------	-----------------

第37期（自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日）

種類	会社等の 名称	所在地	資本金	事業の 内容	議決権等 の所有 (被所有) 割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (注2)	科目	期末残高 (注2)
同一の親会社を持つ会社	㈱三菱UFJ 銀行	東京都 千代田 区	1,711,958 百万円	銀行業	なし	当社投資信託の 募集の取扱及び 投資信託に係る 事務代行の委託 等	投資信託に 係る事務代 行手数料 の支払 (注1)	4,097,951 千円	未払手数料	838,058 千円
同一の親会社を持つ会社	三菱UFJ モルガン・ スタンレー 証券㈱	東京都 千代田 区	40,500 百万円	証券業	なし	当社投資信託の 募集の取扱及び 投資信託に係る 事務代行の委託 等	投資信託に 係る事務代 行手数料 の支払 (注1)	7,025,984 千円	未払手数料	1,319,958 千円

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注) 1. 投資信託に係る事務代行手数料については、商品毎に、過去の料率、市場実勢等を勘案して決定しております。

2. 上記金額のうち、取引金額は消費税等を含まず、期末残高は消費税等を含んで表示しております。

2. 親会社に関する注記

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（東京証券取引所、名古屋証券取引所及びニューヨーク証券取引所に上場）

三菱UFJ信託銀行株式会社（非上場）

（1株当たり情報）

	第36期 (自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)	第37期 (自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)
1株当たり純資産額	393,827.09円	400,322.84円
1株当たり当期純利益金額	49,916.36円	57,424.97円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載していません。

2. 「会計方針の変更」に記載のとおり、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 令和2年3月31日）等を適用し、「収益認識に関する会計基準」第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。この結果、当事業年度の1株当たり純資産額は2,248.25円増加し、1株当たり純利益金額は658.24円減少しております。

3. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	第36期 (自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)	第37期 (自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)
当期純利益金額 (千円)	10,561,354	12,150,032
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る当期純利益金額 (千円)	10,561,354	12,150,032
普通株式の期中平均株式数 (株)	211,581	211,581

第2【その他の関係法人の概況】

1【名称、資本金の額及び事業の内容】

<更新後>

(1) 受託会社

名称：三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社

(再信託受託会社：日本マスタートラスト信託銀行株式会社)

資本金の額：324,279百万円(2021年9月末現在)

事業の内容：銀行業務および信託業務を営んでいます。

(2) 販売会社

名称	資本金の額 (2021年9月末現在)	事業の内容
株式会社三菱ＵＦＪ銀行	1,711,958 百万円 (2022年3月31日現在)	銀行業務を営んでいます。
三菱ＵＦＪ信託銀行株式会 社	324,279 百万円	銀行業務および信託業務を営んで います。
三菱ＵＦＪモルガン・スタ ンレー証券株式会社	40,500 百万円	金融商品取引法に定める第一種金 融商品取引業を営んでいます。

(3) 再委託先

名称：マッコーリー・インベストメント・マネジメント・グローバル・リミテッド

資本金の額：245.7百万豪ドル(2021年12月末現在)

事業の内容：資産運用に関する業務を営んでいます。

3【資本関係】

<訂正前>

委託会社と関係法人の主な資本関係は次の通りです。(2021年10月末現在)

三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社は委託会社の株式の100.0%(211,581株)を所有しています。

(注) 関係法人が所有する委託会社の株式または委託会社が所有する関係法人の株式のうち、持株比率が3%以上のものを記載しています。

<訂正後>

委託会社と関係法人の主な資本関係は次の通りです。(2022年4月末現在)

三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社は委託会社の株式の100.0%(211,581株)を所有しています。

(注) 関係法人が所有する委託会社の株式または委託会社が所有する関係法人の株式のうち、持株比率が3%以上のものを記載しています。

独立監査人の監査報告書

令和４年６月15日

三菱ＵＦＪ国際投信株式会社

取締役会 御 中

P w C あらた有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 鶴田 光夫
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 和田 渉
業務執行社員**監査意見**

当監査法人は、金融商品取引法第193条の２第１項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている三菱ＵＦＪ／マッコーリー オーストラリア・ハイインカム債券ファンド（毎月決算型）（旧ファンド名 三菱ＵＦＪ／ＡＭＰ オーストラリア・ハイインカム債券ファンド（毎月決算型））の令和３年10月８日から令和４年４月７日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、三菱ＵＦＪ／マッコーリー オーストラリア・ハイインカム債券ファンド（毎月決算型）（旧ファンド名 三菱ＵＦＪ／ＡＭＰ オーストラリア・ハイインカム債券ファンド（毎月決算型））の令和４年４月７日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、三菱ＵＦＪ国際投信株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書（訂正有価証券届出書を含む）に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

三菱ＵＦＪ国際投信株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）１． 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

２． XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の監査報告書

令和4年6月10日

三菱UFJ国際投信株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ
東京事務所

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	青木裕晃
--------------------	-------	------

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	伊藤鉄也
--------------------	-------	------

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている三菱ＵＦＪ国際投信株式会社の令和3年4月1日から令和4年3月31日までの第37期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、三菱ＵＦＪ国際投信株式会社の令和4年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、監査した財務諸表を含む開示書類に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。

当監査法人は、その他の記載内容が存在しないと判断したため、その他の記載内容に対するいかなる作業も実施していない。

財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）１． 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

２． XBRLデータは監査の対象には含まれていません。